



創立二十年 記念誌

横浜緑ロータリークラブ







創立二十年 記念誌

横浜緑ロータリークラブ



創立二十年 記念誌目次

発刊のことば	20年記念誌編集委員長	赤柄忠昭	(1)
ロータリーの綱領 ★★★ 四つのテスト ★★★			(2)
認 証 状			(3)
バ ナ ー			(4)

ロータリーが今日に至るまで

ロータリーの誕生			(5)
日本でのロータリークラブの誕生			(9)
後 記			(10)
そして横浜緑ロータリークラブは・・・			(10)

横浜緑ロータリークラブのあゆみ

横浜緑ロータリークラブの誕生			(11)
創立経過報告			(11)
総会プログラム			(13)

横浜緑ロータリークラブ10周年記念式典

式典プログラム			(14)
事 業 報 告			(15)
記 念 式 典			(15)
記 念 講 演			(16)

横浜たまロータリークラブの誕生

創立経過報告			(17)
認証状伝達式次第			(18)

横浜緑ロータリークラブ創立20年記念式典

式典プログラム			(22)
来賓ご芳名			(23)
開会のことば	創立20年記念実行委員長	鶴川 昇	(25)

祝 辞	第259地区ガバナー	谷口 栄	(28)
祝 辞	横浜市長	細郷道一	(30)
祝 辞	横浜市緑区長	馬場貞夫	(31)
祝 辞	横浜港北ロータリークラブ会長	松崎泰長	(33)
祝 電			(34)

横浜市長	細郷道一
横浜銀行頭取	大倉真隆
株式会社三井銀行社長	末松謙一
パストガバナー	上野 豊
パストガバナー	伊藤 茂
パストガバナー	加島 淳
パストガバナー	上野良一

創立20年記念事業概要	(35)
-------------	------

目 録 贈 呈 感謝状及び記念品贈呈

週報に見る10年のあゆみ

1980 (昭和55年) ~1990 (平成2年)	(41)
20年間の歴代会長と会長方針	(52)
年度別組織表	(54)
年度別会員入退会状況	(58)
チャーターメンバー	
表彰・財団寄付率・ポールハリスフェロー・米山功労者	(60)
会員紹介	(62)
物故会員	(69)
編集後記	赤柄忠昭 (70)



発刊のことば



20年記念誌編集委員長

赤柄 忠昭

横浜緑ロータリークラブは横浜港北ロータリークラブをスポンサーとして1970年2月20日創立総会準備会を開催、次いで2月28日創立総会が横浜銀行中山支店に於いて開催され横浜緑ロータリークラブが正式に誕生いたしました。爾来ここに20年の歳月を積み重ね記念誌を発刊する運びとなりました。

平成元年4月1日には新装なった桐蔭学園メモリアルホールに於いて20周年記念式典が目出度く盛大に行われました。そして次年度は当クラブ会員桐蔭学園学長、鶴川昇会員が第259地区がバナーとして活躍されます。この節目の時、20年の実績を積み重ねられた歴代会長、幹事、会員諸兄のご努力を無にすることなく、奉仕の理想の下にロータリー精神にいよいよ磨きをかけて行くべき時が来たと思います。この記念誌は資料の収集も至らない点数多いと思いますが、どうぞご寛容の程お願い申し上げます。

来るべき25年、30年に向けて横浜緑ロータリークラブは限りない発展を続けて参りましょう。これを機に全会員がロータリーの綱領を胸に刻み、四つのテストをいつも心に、新しき船出に向けてこの小冊子がステップになりますことを祈りながら……。



ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として、奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成するにある。

- 第1 奉仕の機会として知り合いを拓めること。
- 第2 実業及び専門職業の道徳的水準を高めること、あらゆる有用な職業は尊重されるべきであるという認識を深めること、そしてロータリアン各自が、職業を通じて社会に奉仕するために、その職業を品位あらしめること。
- 第3 ロータリアンすべてが、その個人生活、職業生活及び社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。
- 第4 奉仕の理想に結ばれた実業人と専門職業人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに 公平か
3. 好意と友情を 深めるか
4. みんなのために なるかどうか

認 証 状



バナー



ロータリーが、今日に至るまで

ロータリーの誕生

『1900年12月31日のニューヨークの夜は冷たい湿った天候であった。角笛を吹き花火を上げて、この20世紀の最初の新年を迎えようとしている幾万ともしれぬ人々、その中の一人として、今では信じ難いかもしれぬが、映画のトーキーを聞いたものは無かった。ましてラジオのプログラムに耳を傾けた者、テレビのショーに眼をかがやしたものの、飛行機で旅した者、ボーイスカウトのパレードに加わった者、原子力解放について読んだ者、国際連合について聞いた者などむろん一人もない。』これは“ROTARY FIFTY YEARS OF SERVICE”と題して国際ロータリーが1955年に発行したロータリー50周年記念誌の書き出しである。

鐘が鳴った。そして19世紀が終わり20世紀が始まった。その2年後、ノースカロライナの海岸でライト兄弟Wilbur and Orville Wrightが、はじめて飛行機で852フィートを飛び、スイスのチューリッヒでは、1905年アンシュタインAlbert Einsteinが相対性原理を発表したが、それが一つは地球を小さいものとしてしまった航空機発達の第一歩であり、また一つは、人類の第3の火といわれる原子力解放の端緒であるとは、何人も気付いてはいなかった。

それらとほぼ時を同じくしてロータリーは生まれた。

ロータリーの発生はディアボーン街Dearborn Streetの奇跡ともいわれているが、決して劇的なはじまりではなかった。

1905年2月23日といえば、東洋では日露戦争が戦われ、日本では、明治もすでに38年、そして、その日から15日後には奉天会戦、3ヶ月後には、日本海海戦で日本の勝利が決定的になった日であるが、その23日の夜、アメリカ合衆国シカゴのディアボーン街のユニティ・ビルUnity Buildingにあった鉱山技師のガスターバス・ローアGustavus Loehrの事務所に、仕立屋のハイラム・ショーレーHiram Shoreyと弁護士のポール・ハリスPaul Percey Harrlsおよび、石炭商のシルベスター・シールSilvester Schieleの主客4人が落ち合った。

そこでハリスは、かねて繰り返していたその主張『実業

人も必ず心からの友人になれる』をまた熱心に説き、『まず職業の違う者が定期に集まったら』と言った。

一つの職業から一人なら競争もないというので、みなようやく賛成した。

ショーレーは、ひそかに新しい友人ができれば、さっそく新しい服をつくらせようと胸算用したし、シールは、われわれは他人の福利ということも考えねばならぬと言った。

このようにしてポール・ハリスの孤独に堪えられぬ心情から生まれた構想と、その粘り強い意志、そしてそれに応じた3人の同意がここにロータリーを生んだのであった。

翌日ハリスは印刷屋のハリー・ラグルスHarry Rugglesに賛成を求め、不動産屋のウィリアム・ジェンセンWilliam Jensenも加わり、3月9日シールの事務所にクラブを置き、3月21日シールを会長とし、ジェンセンが幹事、ショーレーが記録係、そしてラグルスが会計ということで、ともかくクラブの形だけは整えられた。

この6人は、いずれも生まれ故郷を遠く離れてシカゴへ出て来ている、互いに知り合わぬ「路傍の人」であったが、いずれも常に家郷を思い友情に飢えていたので、この集まりははじめはただ友情を深め、互いの仕事を助け合おうというに過ぎなかった。

クラブの名も、はじめは「ブースター」「Booster」といわれていたというが、やがて各自の仕事場を見聞きするため会合を回り持ちにし、会長や役員も一年ごとに回り持ちにしていたところから、「ロータリー」「Rotary」と名付けられ、隔週1回、会合して新聞記事を読み合ったり、ラグルスが歌をうたうことを始めたりしていたが、後に会員も増やしてきて、食事を共にということになると、回り持ちも不便となって、会合にはレストランが用いられ、1905年6月の第2木曜日にシャーマン・ハウスSherman Houseで開かれた。

最初の定款が出来たのは、1906年1月で、(1) 会員の職業上の利益の増進、(2) 親交と社交のクラブに普通付帯する望ましい事柄の増進、をその目的としていたが、その年のうちに、(3) シカゴ市の最善の利益を振興し、会員間に市民としての誇りと忠誠の精神を鼓舞することが加えられた。

ポール・ハリス自身は2年後まで会長になるのを遠慮し

ていたが、クラブを常にはつらつと動かして行くためには工夫が必要だといって、会員資格を一年ごとに切り、その成績で次の会員をきめることにしていたが、間もなく欠席を4回以上続けるか、半年間の出席率が60%に満たない時には会員資格が失われることにかえられた。

この回り持ちと1業1人制とはロータリーの専売のよう
にいられているが、このようなアイデアは、古くはソクラ
テスSokrates, キケロMarcus Tullius Ciceroの昔からあつて、近くは17世紀のはじめ、ロンドンに会員が交互に招き
合せて会合するクラブが、しかも「ロータ」と名付けられ
てあつたし、18世紀の後半には、『ローティション・クラブ』
というのがある、毎週集会をやっていたという。

また18世紀のはじめにあつた『2ペニー・クラブ』は、
同じ職業の者は会員にしないとして1業1人を規約にして
いた。

またフィラデルフィアにフランクリンBenjamin Franklin
がつくった『ジャンツ・クラブ』は、これまた職業別会員
制で、会員の友好と向上とはかつて40年も続いていたとい
われている。

しかしながら、「これらのものとロータリーの違うところは、
奉仕の理想を追求する熱意のはげしさと強さにある
のだ」とポール・ハリスは強調している。

さらにポール・ハリスは、その著“*This Rotarian Age*”
(『ロータリーの理想と友愛』米山梅吉訳)の中で、「ロー
タリーのごとき運動の発芽期としては、20世紀の初頭ほど
絶好の時期はなく、同時にそれを育成して確固たる方向に
示すべき土地としては、この攻撃的な男性的な、しかもエ
セ理屈の多いシカゴの地ほど適切な都市は無かったと述べ
ている。

ポール・ハリスは2年後にようやく会長となったが、こ
の時をはじめ、同様のクラブを他の都市にも持ちたいと考
えた。

そして、1908年に同じ目的規約を持つクラブがカルフォ
ルニア州サンフランシスコにできたが、これは、まったく
若い法律家のホームー・ウッドHomer Woodの努力による
ものであった。

ホームー・ウッドは、その翌年にはオークランドに、引
続きロサンゼルス、シアトル、また、さらにニューヨーク、

ボストンなど、東海岸におけるロータリークラブの設立にも手を貸している。オークランドのクラブが週週1回の規則正しい午餐会をはじめて規約できたのであった。ロータリーの記章も、1906年に馬車の車輪が用いられたが、1912年に歯車の形が採用された、1924年に、24枚の輪歯を6本の軸、および一つの楔穴を有するものが制定せられた。

1908年1月、チェスリー・ペリChesley R. Perryがシカゴクラブに入ってきたが、彼は1910年から1942年に70歳でやめるまでの32年間、国際ロータリーの幹事、事務総長をつとめたのであった。

ポール・ハリスは、「もし、私がほんとにロータリーの設計者と呼ばれるものならば、チェスリー・ペリーこそほんとにその施工者と呼ばれるべきものである。」と言っている。

このチェスリー・ペリが司会して、14クラブの代表者を含む60名がシカゴのコンGRESSホテルCongress Hotelに集まって、全米ロータリークラブ連合会National Association of Rotary Clubsができたのが**1910年8月**であった。その時、ロータリークラブの数は16で会員数もわずか1,800名であった。

この連合会の会長はポール・ハリスで、幹事はチェスリー・ペリー、そして、事務所はペリーのいたファーストナショナルバンクビルFirst National Bank Buildingに置かれたが、ここがそれから長い間、国際ロータリーの本部となったのである。

この年はじめて国境をこえて、カナダのウィニペックにクラブが生まれ、翌**1911年**には、大西洋をこえてイギリスのロンドンおよびマンチェスターにつくられたが、同時にアイルランドのダブリンとベルファストにクラブがすでに結成されているのを知った。

1910年の末、ポール・ハリスは「合理的ロータリー主義」と題する論文をかき、それにペリーが二つ三つの記事を加え、8頁のタブロイド型の“National Rotarian”をつくり、1911年1月に配布したところ、たいそう好評で増刷し、さらにポートランド大会への出席勧誘の記事をのせた第2号を出したが、それによってこの大会でロータリーの機関誌を発行することが決議された。かくて**1912年9月**“The Rotarian”と改名し、毎月発行して今まで続いているが、17年間はチェスリー・ペリー事務総長自ら編集に当たってい

た。

1912年ミネソタ州ドウルースにおける大会には、41クラブから代表が集まり、カナダからも出席があって、名称がロータリークラブ国際連合会と改められ、グレン・ミードがその初代会長に選ばれ、ポール・ハリスは名誉会長に推された。

その時のクラブ数は50、会員数は5,000人と称せられ、ここではじめてディビジョンが設けられ、アメリカ合衆国に5、カナダに2、グレートブリテン及びアイルランドに1と計8地区が置かれた。そして1915年7月、その時の186クラブをさらに19地区に分割し、番号をつけてそれぞれに地区ガバナーを置いた。

日本でのロータリークラブの誕生

三井銀行の米山梅吉は、男爵目賀田種太郎を団長とする財政調査団に加わり、1918年の正月をテキサス州ダラスで迎えた。

ここには、三井物産の福島喜三次がいて、部下のドイツ人ウィリアムが、1914年戦争で帰国した後をうけて、ダラスロータリークラブの会員になっていたの、米山梅吉はここではじめて福島喜三次からロータリーについて聞き、大いに心を動かされて帰ってきた。

1920年1月、福島喜三次も日本へ帰り、ダラスクラブから日本にもロータリークラブをつくるように勧められ、シカゴの本部からも同年6月までにつくる許しも受けていたが、期限内にはできなかったの、シカゴからパシフィックマイルスチームシップ会社横浜支店長のウィリアム・ジョンストンWilliam L. Johnstoneを応援に加えられ、改めて福島喜三次に委任してきた。

アメリカ合衆国のように開拓された土地に新しく生まれた社会では、それを健全に守るためには、何よりもフェローシップ（仲間意識）が大切であるが、そのフェローシップをもとにして、アメリカに生まれたロータリーに対して、長い封建鎖国の時代から明治維新を経て、大正デモクラシーといわれてもほんのうわべだけで、旧態依然たる当時の日本の人々にとって、その精神はもとより、その組織運営についても、これを理解し受け入れることはまことに容易ではなかった。

ようやく1920年8月、銀行クラブに18名を集めて説明し、9月1日、それが発起人会を開いて準備し、10月20日、銀行クラブで、24名で創立総会を開き、東京ロータリークラブが誕生したのであった。翌1921年4月1日付で、登録番号855をもって承認せられた。

後 記

その後太平洋戦争の勃発により、日本も一時国際ロータリーから脱退せざるをえなくなりました。しかし日本のロータリアンはその後もロータリー精神をよく堅持し、会合を開き、その真髓と組織維持してきたのであります。

戦後平和が訪れ、再び国際ロータリーに復帰し現在までの発展を続けております。北は北海道、南は沖縄まで、クラブ数は1,800有余、会員数は109,000余名に達しております。そして更にすべての都市、すべての町にその理想の翼を広げる努力がなされています。

会員は地域内の理想にもえる堅実な実業家、専門職業人の中から「定款」により1業種1人を選び、週1回のクラブ例会出席によって、各種職域人の交友を通じて地域社会へのより多くの奉仕の機会を得ようとはかっております。

そして横浜緑ロータリークラブは……

1969年7月26日緑地区拡大協議会臨時総会に於いて緑区拡大に対する議題を皮切りに協議が重ねられ、会長石川治道氏、幹事柴田清氏のもとに会員数24名で1970年2月28日に創立されました。そして年々発展を重ね1963～1964（平成元年度）には会長代々木和男、幹事遠藤真作のもと53名の会員を数えて今日に至っております。



横浜緑ロータリークラブのあゆみ

横浜緑ロータリークラブの誕生



創立経過報告

1969年

- 7月26日** 緑地区拡大協議会
臨時総会開催（全員）
- 議題** 緑区拡大に対する賛否
- 結論** 1. 拡大には賛成であるが時機をもっと研究しては如何
2. 拡大分区する地域に居住又は事業所を持つ人で会合して促進をしては如何
- 8月16日** 緑区拡大計画について協議
拡大委員会の設置を議決し、鈴木憲一氏を委員長として拡大委員会を決定発足。
- 9月6日** 横浜戸塚、保土ヶ谷、港北、南ロータリークラブ合同地区拡大協議会
各ロータリークラブの拡大状況の報告及び協議
- 10月10日** 10月1日港北区の行政上の分割と共に拡大も推進し改めて会員一同にアンケートを取り10月20日迄を期限とし、11月1日の臨時総会に最終の会員に承認を得る事に決定。

- 11月1日** クラブ臨時総会
賛成28、反対1で拡大に決定した。
依って11月1日を拡大に会員が賛成決定した日と定めたのであります。
- 11月19日** 緑区拡大委員会開催
来る11月21日例会後選定する新会員名を持ち寄り推進委員、選考委員を加え第二次選考の運びとし委員長は緑区役所に拡大地区の調査書を作成
- 12月5日** 山崎卯一横浜市緑地区の特別代表に任命さる
- 12月27日** 緑区拡大委員会開催
1. 拡大調査報告書作成の件
 2. 港北クラブ定款変更の件
 3. 臨明総会議事録の件
 4. 新メンバーと面接の件
 5. 緑ロータリークラブ事務所の件

1970年

- 1月7日** 拡大準備会
1. 5万分の1地図で緑区と港北区のテリトリー図示
 2. 港北ロータリークラブ定款改正
 3. 新入会員選定を1月17日迄に決定する
 4. スポンサークラブより新クラブに移る者9名確定
- 1月28日** 緑区拡大打合せ会
決定された新メンバーに対してのロータリー教育
新メンバーはスポンサークラブちビジターとして極力出席して早くロータリーの概況を身につける事を指導した。
- 2月10日** 創立総会日決定に付き準備会並に創立総会の主旨を新メンバーに説明、ロータリーの定款細則の説明その他
- 2月20日** 創立総会準備会開催
- 2月28日** 創立総会
於 横浜銀行中山支店



総会プログラム

1970年2月28日 PM 2時～4時

司 会 ホストクラブ幹事 加 藤 雅 光

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 1. 「君が代」ロータリーソング「奉仕の理想」 | |
| 2. 開 会 の 辞 | 加 藤 雅 光 |
| 3. 経 過 報 告 | 特別代表 山 崎 卯 一 |
| 4. 来 賓 紹 介 | 特別代表 山 崎 卯 一 |
| 5. 会 員 候 補 紹 介 | 特別代表 山 崎 卯 一 |
| 6. 定 款、細 則 の 審 議 | 特別代表 山 崎 卯 一 |
| 7. 理 事、役 員 の 選 出 | 特別代表 山 崎 卯 一 |
| 8. 新 会 長 接 拶 | 石 川 治 道 |
| 9. スポンサークラブ会長挨拶 | 戸 田 修 |
| 10. 来 賓 祝 辞 | |
| 11. 謝 辞 | 秋 田 茂 |
| 12. 閉 会 の 辞 | 柴 田 清 |
- 懇 親 会

司 会 三 橋 英 一

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1. 接 拶 | 新 会 長 石 川 治 道 |
| 2. 乾 杯 | |
| 3. 祝 宴 | |
| 4. ロータリーソング (手に手つないで) | |
| 5. 万 歳 三 唱 | |
| 6. 閉 会 | 名 倉 健 二 |



横浜緑ロータリークラブ10周年記念式典

—国際ロータリー—創立75周年記念—

日時：昭和55年3月22日

於：桐蔭学園体育館

<式典プログラム>

登 録	13:00より		
記念式典	14:00~15:00	司会進行 十周年記念副委員長	田 辺 政 雄
点 鐘		クラブ会長	山 下 栄 蔵
開会のことば	75周年記念実行委員長.....	小 林 安 雄
国歌斉唱		
ロータリーソング (奉仕の理想)		
来賓の紹介	クラブ会長.....	山 下 栄 蔵
会長あいさつ	”	”
物故者への黙禱 (高橋正文、鈴木憲一、戸田修) 司会者		田 辺 政 雄
75周年並に10周年記念事業報告 社会奉仕委員長		内 野 晃
記念品贈呈	ロータリー財団.....		山 下 栄 蔵
	米山奨学金		
	その他		
表 彰	クラブ会長.....	山 下 栄 蔵
来賓祝辞	第259地区ガバナー.....	伊 藤 茂
		緑 区 長.....	梅 田 兼 光
		横浜緑RC元会長.....	石 川 治 道
閉会のことば	10周年記念実行委員長.....	三 沢 君 夫
点 鐘	クラブ会長.....	山 下 栄 蔵
————— 休憩30分 —————			
講 演	15:30~17:30	紹介者.....	森 善 助
講 題		「己れに克つ」 講師 薬師寺管主.....	高 田 好胤師
————— 休憩30分 —————			
祝 宴	18:00~19:00	司会進行 親睦委員長.....	岩 沢 幸 男
開宴のことば	S. A. A.	岩 岡 正
会長あいさつ	クラブ会長.....	山 下 栄 蔵
来賓のことば	第二分区代理.....	山 本 徳太郎

乾杯	……………スポンサークラブ会長……………	塚本信之
会食		
合唱	(手に手つないで) 親睦委員長……………	岩沢幸男
萬才三唱	……………	岩崎董正
閉宴のことば	……………親睦副委員長……………	赤柄忠昭

<事業報告>

- 1) 3H計画へ協力、金一封寄附。
- 2) ローターアクトクラブ設立の準備を行っている。
- 3) 特別養護老人ホーム「ひかり苑」に対し、会員が寄附。
クラブよりテレビ1台寄贈。
- 4) 田園R、Cと協力で、中山駅より緑区総合庁舎への案内版を寄贈。
緑区政10周年記念にチャリティーバザーを行った。
- 5) 中里学園の園児にクリスマスプレゼントを贈る。
- 6) 「いのちの電話」のP、Rに協力。
- 7) 緑区視力障害者福祉協会に金一封を寄附。

<記念式典から>



10周年記念式典 点鐘

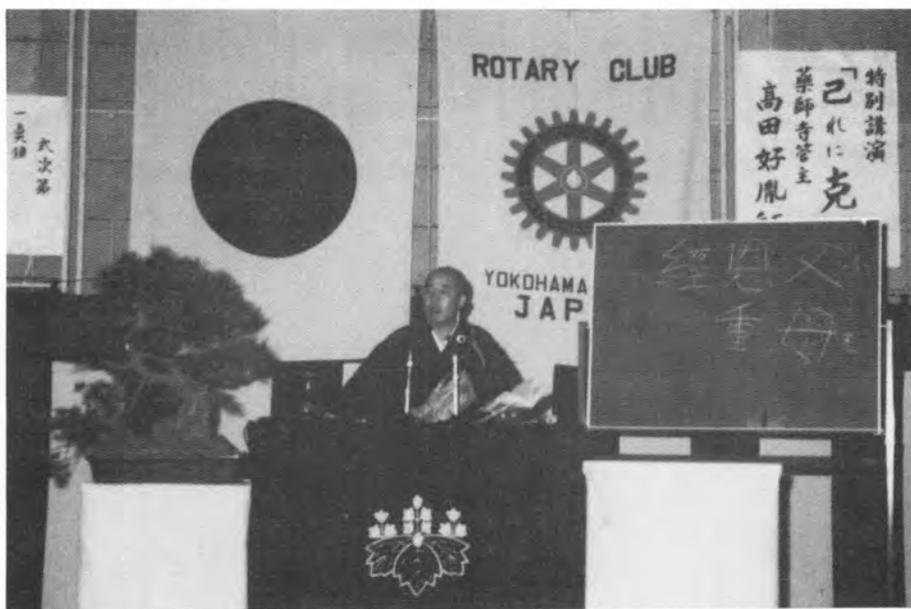


伊藤ガバナー 祝辞



山下会長 挨拶

<記念講演から>



高田好胤師 記念講演



<祝賀パーティーから>

横浜たまロータリークラブの誕生



創立経過報告

1982年

- 10月13日 理事会に於て拡大準備委員会発足、委員の人選を始める。
- 12月1日 横浜緑ロータリークラブの特別代表であり、地区拡大委員の山崎★一氏（横浜港北ロータリークラブ）が来会され、新クラブ結成を強く要請された。また加藤宗兵衛バスターガバナーの示唆もあった。そして新クラブ結成準備委員が次の通り結成された。

委員長 中山 恒三郎
副委員長 三沢 君夫 岩崎幸男
委員 田辺 政雄 内野 晃
武藤 松一

1983年

- 1月12日 上記委員会が理事会で承認される。
- 3月2日 中山恒三郎 特別代表に決定。
- 7月1日 拡大準備委員会メンバー一部変更
山中恒三郎 岩沢幸男 三沢君夫
武藤松一 渡辺 武 戸田裕也

1984年

- 1月11日 拡大準備委員会メンバー一部変更
山中恒三郎 岩沢幸男 三沢君夫
武藤松一 渡辺 武 加藤雅光
- 1月22日 移籍申込者5名
加藤雅光 岩沢幸男 阿久根幹成
武田峯生 井上 章
- 2月8日 たまプラーザ東急百貨店にて新クラブ会員候補者と共に会議
議題：クラブ名、定款、例会日、入会金、年会費、創立総会期日等が協議された。
- 3月27日 創立総会が和光証券たまプラーザ支店会議室で開催された。そして創立メンバーである29名のチャータメンバーが決まり、横浜たまロータリークラブは仮クラブとして発足。
初代会長には加藤雅光、副会長には関戸孝明、岩沢幸男、幹事には阿久根幹成が選出され、例会日は毎週火曜日12時30分より、例会場は和光証券たまプラーザ支店、事務所は横浜市緑区美しが丘1-23-4たまジャーナル社内と決定した。
- 4月10日 国際ロータリー加盟承認される。
- 10月27日 国際ロータリー加盟認証状伝達式がTBS緑山スタジオで開催された。式典の後初代会長加藤雅光の進行で「これからのロータリー」と題し、上野 豊、伊藤 茂、加藤進治、渡辺嘉造伊、加藤宗兵衛、加島 淳の各バストガバナーの記念座談会が開かれた。続いて祝賀パーティーが開かれ、認証状伝達式は無事終了した。

横浜たまロータリークラブ認証状伝達式次第

式 典 (2:30~3:30)

総司会 横浜たまロータリークラブ幹事 阿久根 幹 成

司会

木原信一 赤間敏雄

井沢克幸 金杉英三

点 鐘.....特別代表 山 中 恒三郎

開 会 の 辞.....横浜たまロータリークラブ認証状伝達式実行委員長 鎮 目 栄 一

国歌並びにロータリーソング「奉仕の理想」斉唱...ソングリーダー・横浜たまロータリークラブ会員 大 谷 治 男

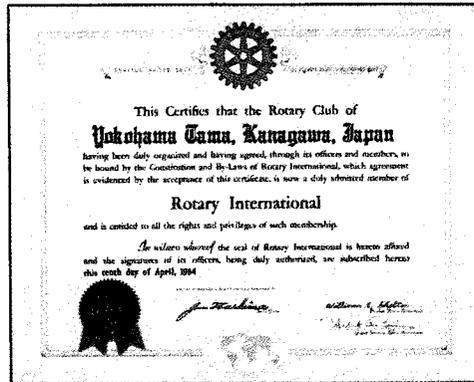
.....エレクトーン奏者 龍 神 典 子

来 賓 紹 介.....特別代表 中 山 恒三郎

参加クラブ紹介.....特別代表 中 山 恒三郎

クラブ設立経過報告	特別代表	中山恒三郎
認証状伝達	国際ロータリー第259地区ガバナー	津田進
ガバナー式辞	国際ロータリー第259地区ガバナー	津田進
スポンサークラブ会長あいさつ	横浜緑ロータリークラブ会長	戸田裕也
会長あいさつ	横浜たまロータリークラブ会長	加藤雅光
会員紹介	横浜たまロータリークラブ会長	加藤雅光
来賓祝辞		
祝電披露		
記念事業贈呈	横浜たまロータリークラブ会長	加藤雅光
記念品贈呈	横浜たまロータリークラブ会長	加藤雅光
ロータリーソング「我等の生業」斉唱	ソングリーダー・横浜たまロータリークラブ会員	大谷治男
	エレクトーン奏者	龍神典子
開会のことば	横浜ロータリークラブ認証状伝達式実行副委員長	岩沢幸男
点鐘	特別代表	山中恒三郎

諸事お知らせ



横浜たまロータリークラブ認証状

ロータリー・ソング

奉仕の理想

作詞 前田和一郎
元京都RC

作曲 萩原英一
元東京RC

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我等の生業^{なりかい}
望むは世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永久^{とわ}に栄えよ
我等のロータリー

我等の生業

作詞 高野辰之
作曲 岡野貞一

- 1 我等の生業^{なりかい}さまざまなれど
集^{つど}いて図る心は一つ
求むるところは平和親睦^{やわらましづび}
力^{つと}むるところは向上奉仕
おゝロータリアン
我等の集い
- 2 奉仕^{つと}に集^{つど}える我等は望む
正しき道に果をとるを^{このみ}
人の世^{このよ}挙^ありて光を浴みつ
力を^{ちから}協^あせて争^い忌むを
おゝロータリアン
我等の集い

手に手つないで

作詞・作曲 矢野一郎
東京RC

- 1 手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪
ひろがれ まわれ 一つ手に
おゝロータリアン おゝロータリアン
- 2 手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪
ひろがれ まわれ 世界と共に
おゝロータリアン おゝロータリアン



横浜緑ロータリークラブ 創立20年 記念式典

平成元年4月1日
桐蔭学園メモリアルホール



横浜緑ロータリークラブ創立20年記念式典

プログラム

(敬称略・順不同)

第一部 記念式典

14:00	来賓受付	司会 式典祝賀部会長	岡本 健
15:00	点鐘	会長	代々木 和男
	国歌斉唱	ソングリーダー	赤柄 忠昭
		ピアノ伴奏 (桐蔭学園女子部 高校2年)	坂東 朋子
	ロータリーソング (奉仕の理想)	ソングリーダー	赤柄 忠昭
		ピアノ伴奏 (桐蔭学園女子部 高校2年)	坂東 朋子
	物故者会員に対して黙禱	会長	代々木 和男
	開式のことば	20年記念実行副委員長	三沢 君夫
	来賓紹介	20年記念実行委員長	鶴川 昇
	挨拶	20年記念実行委員長	鶴川 昇
	記念事業報告	記念事業部会長	中林 靖
	記念事業目録贈呈	20年記念実行委員長	鶴川 昇
	感謝状贈呈	会長	代々木 和男
	来賓祝辞	RI 第259地区ガバナー	谷口 栄
	来賓祝辞	横浜市長	細郷 道一
	来賓祝辞	緑区長	馬場 貞夫
	来賓祝辞	横浜港北ロータリークラブ会長	松崎 泰長
	祝電披露	式典祝賀副部会長	中畑 龍二
	閉式のことば	20年記念実行副委員長	山下 栄蔵
	点鐘	会長	代々木 和男
16:00	諸事お知らせ	司会者	
16:05	アトラクション		
	① 桐蔭太鼓	桐蔭高専5年 (平成元年度ローターアクト会長)	片淵 司他
	② ピアノとバイオリンの合奏		桐蔭学園女子部
	曲目	ラ・フォリア (コレルリ作曲) ピアノ 高校2年 坂東朋子・バイオリン 中学2年 長島加奈	
		カノン (パツヘルベル作曲) バイオリン 中学2年 山崎美佳	

第二部 記念祝宴

		司会 接待部会長	名倉 健二
16:30	開宴のことば	会計部会長	田沼 文衛
	鏡割	RI 第259地区ガバナー	谷口 栄
		20年記念実行委員長	鶴川 昇
	乾杯	会長	代々木 和男
	懇談	第四分区代理	森川 泰汎
	万歳三唱	横浜緑ロータリークラブ バスト会長 代表	小林 安雄
	中メ	接待副部会長	内野 晃
	閉宴のことば	副会長	藪島 五郎
	ロータリーソング (手に手つないで)	ソングリーダー	赤柄 忠昭
18:00			

来 賓 ご 芳 名

行政及び一般

横浜市 長	細 郷 道 一
緑 区 長	馬 場 貞 夫
緑区北部支所長	中 野 瑞 夫
緑 警 察 署 長	北 村 寛 作
緑北警察署長	須 田 英 雄
緑 消 防 署 長	久保坂 幸 雄
緑区連合町内会長 会長	白 井 文 雄
	黒 沼 勇 二
	金 子 義 孝
	平 瀬 君 平
	工 藤 五 三
横浜みどりライオンズクラブ 元会長	
日本ボーイスカウト 横浜	
第83団 副団委員長	柳 部 和 夫
第89団 団委員長	久 保 憲 嗣
第95団 団委員長	吉 田 昌 美
第125団 団委員長	穂 苺 弘 造
第130団 団委員長	大 貫 賢 治
中里学園 園長	高 山 光 夫

報道関係

朝 日 エ コ ー
グリーンシティ新聞社

ロータリー

RI 第259地区 ガバナー	谷 口 栄
バストガバナー	石 渡 三 郎
バストガバナー	細 谷 実
バストガバナー	渡 辺 嘉 造
バストガバナー	小 林 亮 浩
直前ガバナー	岡 崎 全 宏
ガバナーノミニ	鈴 木 克 也
地区幹事	岩 宮 浩
地区副幹事	菅 沼 恒 雄
地区副幹事	奈 木 健 二
地区副幹事	寺 門 義 雄
地区副幹事	山 本 徳 太 郎
第3分区代理	星 野 浩
第4分区代理	森 川 泰 汎
第7分区代理	坂 元 三 男
第10分区代理	川 井 彦 策
地区拡大増強委員長	三 木 志 郎
地区クラブ奉仕委員長	広 瀬 重 男

地区職業奉仕委員長
地区社会奉仕委員長
国際親善活動委員長
ローターアクト委員長
青少年交換委員長
地区R財団委員長
特別補助金委員長
ポリオプラス委員長
地区米山奨学委員長
地区大会委員長
地区協議会委員長

石 坂 圭 二
高 橋 喬 郎
古 館 淳 正
山 本 山 彰 義
青 吉 田 貞 一
吉 野 寧 訓
青 山 松 次
鈴 木 清 次
伊 藤 清 志
伊 藤 伊 太 郎

第 1 分 区

川崎中央RC

会 長 山 本 久
幹 事 川 島 光

第 2 分 区

川崎中RC

会 長 市 川 昌 三
幹 事 井 上 光

川崎中原RC

会 長 登 弘 進
幹 事 石 井 弘 博

川崎北RC

会 長 星 野 脩 恵
幹 事 猿 橋 陸 郎

川崎宮前RC

会 長 佐 藤 弘 志
幹 事 大 竹 芳 郎

川崎鷺沼RC

会 長 原 芳 真 久

川崎高津RC

会 長 亀ヶ谷 剛

川崎多摩RC

会 長 小 川 藤 正 夫

川崎西RC

会 長 柳 沢 保 雄
幹 事 小 泉 五 郎

川崎百合ヶ丘RC

会 長 大 吉 靖 邦
幹 事 関 口

第 3 分 区

神奈川RC

会 長 晝 間 孝 之
幹 事 八 木 均

神奈川東RC

会 長 岩 岡 真 三 郎

横浜東RC

会 長 出 村 忠 吉

横浜港北RC

会 長 松 崎 泰 長
幹 事 飯 田 喜 三 男

横浜鶴見北RC

会 長 簡 藤 文 治
幹 事 藤 林 明 彦

横浜鶴見西RC

会 長 村 磯 勝 彦
幹 事 大 崎 信 隆

第 4 分 区

横浜旭 R C

会 長 小 平 勝 藏

幹 事 内 田 一 夫

横浜田園 R C

会 長 山 本 顕

幹 事 増 田 紀 男

横浜鶴峰 R C

会 長 内 田 照 夫

横浜瀬谷 R C

会 長 露 木 重 久

幹 事 矢 崎 昌

横浜たま R C

会 長 杉 崎 司 光

幹 事 根 岸 讓 一

第 5 分 区

横浜 R C

副会長 今 村 嘉 孝

横浜磯子 R C

幹 事 渡 辺 邦 夫

横浜金沢東 R C

会 長 富 樫 哲 夫

幹 事 館 野 文 七

横浜中 R C

会 長 田 代 信 太 郎

横浜南 R C

会 長 池 谷 利 一

幹 事 折 田 慶 信

第 6 分 区

横浜西 R C

会 長 酒 井 輝 義

幹 事 角 野 伸 高

留 学 生

REXクラブ

会 長 漆 原 香 織

副会長 中 野 正 人

インターアクト

横浜商科大学高等学校

インターアクトクラブ

関東学院高校

インターアクトクラブ

県立保土ヶ谷高校

インターアクトクラブ

桐蔭学園高校

インターアクトクラブ

ローターアクト

桐蔭高等専門学校

ローターアクトクラブ



開会のことば



創立20年記念実行委員長

鷓川 昇

本日はこの横浜緑ロータリークラブ20年記念式典に多数御参列頂きましてありがとうございます。

本日はこの緑区の区長さん始めその他色々関係の深い方々、ロータリーからはガバナーを始め、パストガバナー、地区の役員の方、多数御出席頂きましてありがとうございました。

横浜緑ロータリークラブは昭和45年にできました。本日のこの式典は20周年という事はまだ言えませんが、20年に入りましてひとつ先取りをしてお祝いをして次のスタートにしたい、という事で4月1日を選びまして今日の開催に至った訳でございます。昭和45年の2月28日に創立総会が開かれましてそれから間もなく昭和45年の3月11日に設立が認められて、現在横浜港北ロータリークラブ名誉会員となられている山崎卯一氏が特別代表という事で横浜緑ロータリークラブのスタートの指導をされました。横浜港北ロータリークラブがスポンサークラブとなり8名の移籍会員があり24名のチャーターメンバーでスタートしました。現在残っている方々は6名でございます。新しい会員を得てメンバーその他多くの方々の努力によって運営されてきて現在に至っているのが大きな特色でございます。

横浜緑ロータリークラブは私もチャーターメンバーのひとりでありまして指導して下さったのは山崎卯一氏の重厚な人柄によるものです。初代会長の石川さんも又非常に重厚な人柄でして、石川、秋田、又現在メンバーであります小林、この三代の会長の時代で横浜緑ロータリークラブの基礎が決まり、二代目の秋田会長の時、たまたま今日の会場になっております桐蔭学園が甲子園で優勝しまして私が



新横浜へ生徒を連れて参りました時秋田会長が花束をもって私に下さった事が非常に印象に残っております。あれは生徒の試合ですから校長の出る幕ではないのですから花束をくれる人は誰もいません。あれは選手と部長に行くべきです。しかし、ロータリーとは「大人の交際をする処」だという事を昭和46年8月16日に痛感しました。というのはお盆の休暇を返上致しまして県警、消防署関係のプラスバンドを非常召集までして歓迎してくれまして、そういう全体の動きの中で大人の付き合いをして頂きましてロータリーというのは日常生活の場と違うんだという事で印象を新にしました。

その後、加藤雅光会員のときに横浜緑ロータリークラブは外に向かう力がやっと出来たな、との感じを強く致しました。桐蔭は粗末な施設でしたが7年目に青少年のインターアクトクラブを桐蔭でつくりたいと緑クラブにお願いした処絶大なる賛同を得て出来上がりました。これは、たまたま上野ガバナーの時代の地区協議会の会合に私が出ていました時に、桐蔭としては進学にとてもよい成果を上げておりました時、ある教育界の先輩会員が進学する学校にインターアクトなんていうのはできないし、望外なんだと意見されまして私は返す言葉もありませんでしたが“それは違うのではないか”と考えまして7年目に桐蔭にインターアクトクラブをつくり、8年目にクラブ全体と地域の要請に答えまして横浜田園クラブが出来上がりました。横浜緑ロータリークラブをスポンサーとしてその時の移籍会員は4名、緑クラブが出来た時の半分でしたが、緑クラブの柱となった会長さんと鈴木健一氏、戸田 治氏という港北から移られた元老会員ら、この各氏が会員に非常に落ちついたロータリー精神を吹き込んだと私は思います。ロータリーのさまざまな規定という事柄をこまかく取り上げるのではなく、行動と考え方のうちにロータリーのあり方をお二人がリードして下さった事が横浜緑ロータリークラブの性格を決めた大きな要因と思われまます。

私は五代目の会長で、これは緑で生まれた初めての会長で現在に至っている訳ですが、先程申し上げた横浜田園ロータリークラブが緑クラブの性格と違うなということが会



合に出させてもらってよく感じるのですがそういうタイプの違うクラブが出来るのは私は大変好ましいと感じる訳です。8年目に、桐蔭はローターアクトクラブをつくりました。このクラブは今大学が出来まして大学のローターアクトクラブへと発展していく事と思います。10年目に、田園クラブは横浜田園ロータリークラブとして、桐蔭の高専にインターアクトクラブをつくってくれました。このインターアクトクラブは、非常に輝かしい実績を田園クラブの皆さんの変わり目として果たしてきたと思いますが桐蔭高専が大学となりました後女子部でこのインターアクトクラブをつくらせて頂こうと田園クラブにお願いしてあります。その後、横浜たまロータリークラブが緑クラブ12年目にして、緑クラブをホストとしてスタートしました。このクラブは移籍会員5名ですが緑とも田園とも違った性格をもつクラブです。ロータリーの中で必ずしも他と違う異色でありながら成果を上げているクラブです。

そういう経過を辿りながら、緑クラブは20年たちました。これから地域の要請と緑クラブ自体の水準をいかに上げるかがこれからの問題となりますので20年という事柄は横浜緑ロータリークラブが新たにスタートする時だと考えます。

ガバナー始め、ロータリーの先輩の方々や地域の皆様、お集りの近隣クラブの皆様の御後援をえてさらに発展したいと思います。よろしく申し上げます。以上もちまして、20年記念の御挨拶といたします。

ありがとうございました。



祝辞



第259地区ガバナー

谷口 榮

横浜緑ロータリークラブ20周年に当りまして、地区内の99クラブ、5,700名のロータリアンを代表致しまして、祝辞を申し述べる機会を与えられました事を心より御礼申し上げます。又このおめでたい式典をカバナーノミニーとなりました桐蔭学園の鶴川昇校長先生の新築されましたこの様な立派なメモリアルホールで開催されますことも二重三重のおめでたであり、横浜緑ロータリークラブの今後の発展を約束するメモリアルな1日になると思います。

さて横浜緑ロータリークラブは、横浜港北ロータリークラブをスポンサークラブとして、当クラブの長老山崎卯一氏特別代表の御指導の下で昭和45年2月28日上野泰ガバナーの臨席の下にチャーターメンバー24名をもって創立総会を開催致しました。その後わずか11日後の3月11日、早々と国際ロータリーより承認されたのでございます。

そして昭和45年12月13日には、横浜市民体育館におきまして、横浜旭、横浜瀬谷、及び横浜港南ロータリークラブと4クラブ合同にて、盛大なチャーターナイトが挙行されました。

初代会長石川治道さんに続き秋田茂さん、小林安雄さん、加藤雅光さん、鶴川昇さん、名倉健二さん、三沢君夫さんという様に、歴代会長のリーダーシップよろしく貴クラブは、すばらしい発展を続けて参りました。また昭和53年には、横浜田園ロータリークラブ、昭和59年には、横浜たまロータリークラブのスポンサークラブとして、新クラブの設立に貢献されました。そういう風にチャーターメンバー24名をもって築きました当クラブは、現在3クラブ合計で131名となった訳でございます。

この様にロータリーの拡大、増強に尽されました貴クラブの功績は極めて顕著で心より敬意を表するものでございます。

なお地区と致しましては、来年度貴クラブより地区の重要な役員を送り頂きご奉仕を頂いております。又1990年91年度には新生第259地区の第2代目ガバナーとして鶴川昇先生が登場し、貴クラブはガバナーズクラブとして、地区内ロータリアンの脚光を浴びることになります。又次年度には、名倉健二会員が第4分区代理として分区内のお世話をして頂くことになっています。

この様に、次年度からの第259地区が横浜緑ロータリークラブに於ける期待は極めて大きいものがあります。私は地区のガバナーと致しまして新生第259地区発展の為に横浜緑ロータリークラブの積極的な御協力をお願い申し上げますと共に貴クラブが超我の奉仕の実践により奉仕の理想を推進される様をお願い申し上げたいと思います。

本日は本当におめでとうございます。貴クラブの益々の発展を祈念致しまして、私のお祝いの言葉に替えさせていただきます。おめでとうございます。



祝辞



横浜市長

細 郷 道 一

横浜緑ロータリークラブ創立20周年おめでとうございます。

皆様方におかれましては、創立以来、地域に密着した社会奉仕活動をはじめ国際親善などの、思いやりの心にあふれた様々な活動を通して、地域の皆様のふれあいの輪の核として活動してこられました。このことに対しまして、深く敬意を表する次第でございます。

横浜は、いま、市政100周年・開港130周年の記念すべき年を迎え、「宇宙と子供たち」をテーマにした横浜博覧会＝YES'89を盛大に開幕いたしました。この博覧会の期間中、横浜を訪れる国内外の多くの人々によって、さわやかな交流が繰り広げられることでしょう。

現在、市民生活や市政を取り巻く社会経済情勢や国際環境は激しく変化しており、大都市のコミュニティの基本となる共生と連帯の展開、心の豊かさや人間的なふれあいを重視した「さわやか社会」の実現、さらには世界に開かれた街「国際文化都市」横浜の実現が強く求められています。

このような中で、皆さんと一緒に作った「よこはま21世紀プラン」の成果も、市民利用施設の建設や、様々な事業となって実を結ぼうとしています。

震災、恐慌、空襲そして戦後の接収や人口急増という五重苦を乗り越え、横浜を発展させてきた先人たちの努力を受け継ぎ、皆様と力を合わせ、この歴史的な節目の年を、新しい100年を目指すスタートの年にしていきたいと願っています。

どうぞ横浜緑ロータリークラブの皆様におかれましても、今後とも私たちの横浜を心の通いあう明るくさわやかな街とするため一層のご協力を賜わりたくお願い申し上げます。

本クラブ会員の皆様の益々のご健勝、ご活躍を祈念しましてお祝いの言葉とさせていただきます。

祝辞



横浜市緑区長

馬場 貞夫

横浜は今年100周年、開港130周年、同時に緑区も実は港北区から昭和44年に別れまして20周年という節目の年になっております。緑区を生んでくれました港北区が50周年ということでございます。いろいろな形で節目の年になっておる訳でございます。こうした時に緑区の歩みと共に歩んで来られました当横浜緑ロータリークラブが20年をお迎えになられまして心から地元の区長としてお祝いを申し上げる次第でございます。この20年の間にロータリークラブの皆様は各業界の代表として活躍されてまいりました。振り返りますと、港北区から緑区が別れました時が人口123,000人でした。今緑区は413,000人という市内最大の16区最大の区に発展して参りました。それというのも各業界を代表するロータリークラブの皆様長い間に渉る区政、地域への御奉仕、こういった事が大きな力となっているものと思ひ深く感謝する次第でございます。社会福祉の面、あるいは交通安全、広く国際親善の為に大変なご努力を頂戴致しました。本当にありがとうございました。

今、緑区も21世紀を後10数年に迎えます。緑区の地区別の長期計画の見直しを行なっております。少しでも区民の皆様がさわやかで住み良い緑区にする為に、そして活力のある緑区にする為にこれからも益々ロータリークラブの皆様と手を携えて努力をして参りたいと思っておりますのでこれからのご協力もなおお願いを申し上げます。先程会長さんから緑区政の20周年記念植樹のお祝いを頂戴致しました、誠にありがとうございました。然る可きいい場所とすばらしい木を選び区民の皆様にも愛される様なすばらしい植樹を行なって行きたいと思ひます。いずれ皆

様にご披露させて頂きます。それから重ねて区役所、警察、消防の関係職員に対しまして心温まる感謝状を頂戴致し表彰を受けました皆に代わりまして私から厚く御礼を申し上げる次第でございます。会場の皆様の地域の為に大変御努力を頂いておる訳で共にお喜びを申し上げたいと存じます。

終りになりましたけれども、今後益々横浜緑ロータリークラブが発展をされ、そして皆様が御健勝でご活躍される事を祈念申し上げましてお祝いのご挨拶と致します。

ありがとうございました。



祝辞



横浜港北ロータリークラブ

松崎 泰長

春爛漫美しい桜の満開の下で本日貴緑ロータリークラブ創立20周年記念式典をかくも盛大に挙行されますことはまことに御目出度く心より御慶び申し上げます。

昭和45年弊横浜港北ロータリークラブをスポンサークラブとして結成せられてよりはや30年今やおもしろおされもせぬ名門クラブの一つとして輝やかなしい地歩を占められましたことはまことに御同慶に堪えません。これもひとえに会員の皆様方の日頃のたゆまぬ精進と研鑽努力の賜と心から感服致しますと共に私共親クラブの者にとりましても大変鼻の高いことで御座います。

代がかわり年を経ても親と子の絆と申すものは末代不滅のもので御座います。どうぞ今後とも共に相携い相扶け相励まし共に更らによりよいクラブづくりに邁心してゆこうではありませんか。

茲に貴クラブの愈この御発展と本日御米場の皆様方の益々の御健勝とを御祈りして甚だ粗辞では御座いますが御祝いの言葉とさせて頂きたいと存じます。

本日は本当に御目出度う御座います。



横浜緑ロータリークラブ創立20年 記念式典

祝 電

創立20年を心からお祝い申し上げますとともに、20年を契機に貴クラブの新たな飛躍を期待いたします。

横浜市長 細 郷 道 一

横浜緑ロータリークラブ創立20周年を心からお祝い申し上げますとともに、今後ますますの御発展をお祈り申し上げます。

横浜銀行頭取 大 倉 真 隆

今後とも、地域社会の奉仕活動に御活躍され、貴クラブが増々発展されますよう、心よりお祈り申し上げます。

株式会社 三井銀行社長 末 松 謙 一

貴クラブの創立20周年を、心よりお祝い申し上げますとともに、貴クラブの増々の御発展を祈念致します。

バストガバナー 上 野 豊

貴クラブ創立20周年の盛典を祝し、今後益々のご発展を祈念申し上げます。

バストガバナー 伊 藤 茂

創立20周年を祝し、ますますの御発展を心よりお祈りします。

バストガバナー 加 島 淳

貴クラブの創立20年をけいしゆく申し上げ、ますますの御発展を祈念致します。

バストガバナー 上 野 良 一

創立20年 記念事業概要

クラブ創立20年を記念し目録贈呈、感謝状及び
記念品贈呈が行われた。

目録贈呈

ロータリー事業財団へ寄附
ポリオプラス寄金へ寄附
米山記念奨学会へ寄附
緑区政20周年記念植樹へ協力
中里学園へ寄附

感謝状及び記念品贈呈

横浜市緑区役所職員
緑警察署
緑区警察署
緑消防署
緑区体育協会
チャーターメンバー
小林 安雄 鷯川 昇 富永 力
名倉 健二 岡本 健 三橋英一
事務局職員
二宮 登代子

アトラクション

- ① 桐蔭太鼓 桐蔭高専5年（平成元年度ローターアクト会員）片 瀧 司 他
- ② ピアノとバイオリンの合奏
曲目 ラ・フォリア（コレルリ作曲）ピアノ：高校2年 坂東 朋子
バイオリン：中学2年 長島 加奈
カノン（パツヘルベル作曲）



受付風景



点鐘
代々木和男 クラブ会長

ソングリーダー
赤柄忠昭



創立20年記念式典風景から



開会のことば

鶴川 昇 20年記念実行委員長



来賓の方々



創立20年記念祝賀会風景から



開宴のことば
田沼文衛 会計部会長



鏡 割

左から 鶴川 昇実行委員長
谷口 榮ガバナー
代々木和男クラブ会長

祝賀会風景



谷口ガバナーを囲んで談笑



美しい桐蔭学園の
野外の木立をバックに…。



見事な料理の数々…。
桐蔭学園の調理員の方々が心をこめて作って下さったものでした。



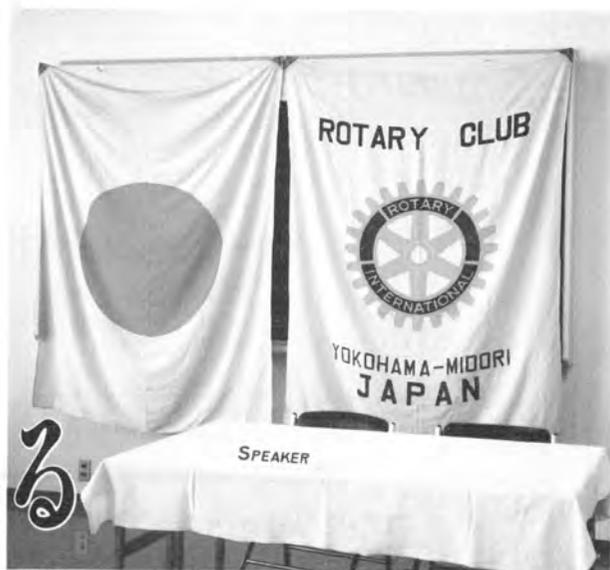
暖いもてなしをして下さった桐蔭学園職員

生方さん（左）
西田さん（右）





週報に見る 10年のあゆみ



1980（昭和55年）～ 1990（平成2年）

1980~81年度

R.I.会長 ロルフ・J・クラリッヒ

時間を捧げよう
奉仕のために
TAKE TIME TO SERVE

TAKE TIME TO SERVE 時間を捧げよう奉仕の為に
R.I.会長 ロルフ・J・クラリッヒ



YOKOHAMA MIDORI ROTARY CLUB

横浜緑ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

例会日 毎週水曜日12:30~1:30 横浜
事務所 横浜緑区中山町230(横浜銀行中
会長 岡本 徹 会報委員 小林
幹事 代々木和男 北島

第 514 回 例会

点鐘・司会 岡本 会長

会長報告

1. 武蔵会員7月1日付シニアクラブ会
2. 地区協議会報告
3. 定例理事会

幹事報告

- 1) 例会臨時変更その他
 - (イ) ビジター費変更通知(7月より)
 - 川崎クラブ 2,300円
 - 川崎南クラブ 2,700円
 - 茅ヶ崎クラブ 1,800円
 - 茅ヶ崎湘南クラブ 1,800円
 - 2) 替為レート変更
 - 7/1より 1.8230-

出席報告

	会員数	出席数	出席率
本日	35/41	35	85.37%
前回補正後	41/41	41	100%

愛情

TAKE TIME TO SERVE 時間を捧げよう奉仕の為に
R.I.会長 ロルフ・J・クラリッヒ



YOKOHAMA MIDORI ROTARY CLUB

横浜緑ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

例会日 毎週水曜日12:30~1:30 横浜銀行中山支店 会議室
事務所 横浜緑区中山町230(横浜銀行中山支店) TEL (045)933 2341代
会長 岡本 徹 会報委員 小林 徹 山田 雅人 滝内 俊男 遠藤 昌作
幹事 代々木和男 北島 司 原 雅 逸美 豊田 洋 萩島 五郎

第 563 回 例会 昭和56年6月21日(水曜日)

点鐘・司会 岡本 会長 台 報 手に手つないで

会長報告

代々木 野会員が転勤の為に退会されまし
た。益々のご活躍をお祈り申し上げます。

幹事報告

- 1) 例会臨時変更その他
 - (イ) 川崎南クラブ
 - 6月27日(日)例会を17時30分より「マスタ
ーホテル」に臨時変更いたします。
 - (ロ) 横浜南隣クラブ
 - 6月25日(例)例会を17時30分より「関内」か
に道楽」に臨時変更いたします。
- 2) 新年度の名簿作成について
修正の必要の方は至急お申し出下さい。

出席報告

	会員数	出席数	出席率
本日	13/30	13	89.13%
前回補正後	16/30	16	100%

プログラム

時間	内容
7/15	加藤進治 直前かき 目下の石油事情 について
7/29	市医師会長 朝田 桂氏 横浜市における 地域医療の現状

愛情で接しよう

1981~82年度

R.I.会長 スタンレー・E・マッキャフリー

ロータリーを通じて
世界理解と平和を
WORLD UNDERSTANDING
AND PEACE THROUGH
ROTARY

●ロータリーを通じて世界理解と平和を World Understanding and Peace through Rotary

横浜緑ロータリー・クラブ
WEEKLY REPORT



●例会日 毎週水曜日 (2:30~) : 30 横
事務所 横浜緑区中山町230(横浜銀行中
会長 岩沢幸男 会報委員 海内
幹事 中林 靖 岩本

第 564 回 例

点鐘・司会 岩沢 会長

出席報告

	会員数	出席数	出席率
本日	44/50	47	87.23
前回補正後	46/50	46	100

プログラム

スピーカー	テーマ
7/15 加藤進治 直前がサー	目下の石巻事情 について
7/29 市医師会長 柳田 桂氏	横浜市における 地域医療の現

個性

●ロータリーを通じて世界理解と平和を スタンレー・E・マッキャフリーR.I.会長
World Understanding and Peace through Rotary

横浜緑ロータリー・クラブ
WEEKLY REPORT



●例会日 毎週水曜日 (2:30~) : 30 横浜銀行中山支店 会議室
●事務所 横浜緑区中山町230(横浜銀行中山支店) T.E.L. (045)933-234(代)
●会長 岩沢幸男 ●会報委員 名倉健二 ●会報副委員長 黒崎浩一
●幹事 中林 靖 ●会報委員 林 達磨 加藤勇夫 中西龍二
城田昭次 武田峰生 山本国雄

第614回 例 会 昭和57年6月30日(本曜日)

出席報告

	会員数	出席数	出席率(%)
本日	46/48	38	82.60
前回補正後	45/48	45	100

プログラム

スピーカー	テーマ
7/7 田辺会長・幹事	就任挨拶
7/14 四大専任委員長	新年度計画発表

司会 幸内 S.A.A
点鐘 田辺副会長
合唱 我等の生業

会長報告

- ・地区協議会が6月20日、松下電器で行われた。
- ・「ロータリー財団10,000年達成クラブ」の功労賞を受賞
- ・栗島操君入会
- ・米山功労賞を森会員が受賞
- ・渡辺ガバナーから乳状が来ました。

会報方針 個性を生かそう

1982~83年度
R.I会長 向笠 広次

人類はひとつ
世界中に友情の橋をかけよう
MANKIND IS ONE BUILD BRIDGES
OF FRIENDSHIP THROUGHOUT
THE WORLD

人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう
MANKIND IS ONE- Build Bridges of Friendship Throughout the World
1982~83 R.I. 会長 向笠 広次

横浜緑ロータリー・クラブ
YOKOHAMA MIDORI ROTARY CLUB

例会日 毎週水曜日12:30~1:30 横浜銀行
事務所 横浜市緑区中山町230(横浜銀行
会長 田辺 政雄 会報委員 田沼
幹事 内野 晃 加藤

第 615 回例会

司 会 進 藤 S.A.A.
点 鐘 田 辺 会 長
合 唱 君 が 代
命 仕 の 理 想

会長報告

1) 好井会員の亡母キョ膜供養の礼状が
あります。
2) 定例理事会
3) 前会長、幹事に記念品贈呈。

幹事報告

1) 例会臨時変更その他
(例) 横浜緑子 R C
7月15日(例)例会を、18:00より

出席報告

	会員数	出席数	出席率
本 日	48/(46)	35 ⁺¹	76.0
前回補正後	48/(48)	46	100

会長方針

人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう
MANKIND IS ONE- Build Bridges of Friendship Throughout the World
1982~83 R.I. 会長 向笠 広次

横浜緑ロータリー・クラブ
YOKOHAMA MIDORI ROTARY CLUB

例会日 毎週水曜日12:30~1:30 横浜銀行中山支店 会議室
事務所 横浜市緑区中山町230(横浜銀行中山支店) TEL.(045)933-2341代
会長 田辺 政雄 会報委員 田沼 文衛 山本 国雄 林 達磨 岩崎 正
幹事 内野 晃 加藤 勇夫 長瀬 正作 渡辺 健一 寺崎 誠三

第 664 回例会 昭和58年6月29日

司 会 進 藤 S.A.A. 新ビクター賞 2,000円
点 鐘 田 辺 会 長 3) Nelson Bay ロータリークラブの幹事より
合 唱 我 等 の 生 業 Wendy Jackson の部礼状が添ってあります。

会長報告

1) 田辺しげ子ポールのハリスフェロー受章の件。 栗 島 優 君 (昭和57年6月30日)
2) 理事会開催の件。

幹事報告

1) "米山梅吉記念館" 新理事長挨拶 内 野 陽 子 さん (6月30日)
新理事長 大河原 二郎氏 (相模 R C 会員)
2) 相模原中 R C 例会輪室変更 相模原中 R C 五年誌、神奈川、神奈川東

入会記念日

遺報御霊クラブ

相模原中 R C 例会輪室
相模原市中央 3-12-3
TEL 0427-53-1315

ローターアクトクラブ例会

日 時 7月6日 PM 4:15 ~ 5:15 迄
場 所 桐蔭学園

出席報告

	会員数	出席数	出席率(%)
本 日	50/48	37 ⁺²	77.08 多
前回補正後	50/48	48	100 多

プログラム

	スピーカー	テーマ
7/6	会長・幹事	就任挨拶
7/13	四次奉仕委員長	新年要計画

会長方針 愛と奉仕

1983~84年度
R.I会長 ウィリアム・E・スケルトン

みんなにロータリーを
みんなに奉仕を
**SHARE ROTARY
SERVE PEOPLE**

みんなにロータリーを
みんなに奉仕を
YOKOHAMA MIDORI ROTARY CLUB

**Share Rotary
Serve People**

1983 年 6 月 27 日 ウィリアム・E・スケルトン
事務所 横浜市緑区中山町230 千226
横浜銀行中山支店
TEL. 933-2341

YMRC
横浜緑ロータリー
WEEKLY REPORT
No. 665 昭和58年7月6日

例会記録

- ◎ 司会 橋本S.A.A
- ◎ 合唱 君が代 奉仕の理想
- ◎ ゲスト なし
- ◎ ビジター
加藤 勲君 (横浜田園R.C.)
藤倉 四郎君 ()
- ◎ 入会記念日
武藤 一君 (昭和45年7月1日)
山下 栄蔵君 (昭和45年7月1日)
加藤 直幸君 (昭和56年7月1日)
成田 昭次君 (昭和55年7月9日)
武田 兼生君 (昭和55年7月9日)
- ◎ 御夫人誕生祝
武田 律子さん (7月10日)
- ◎ 会長報告
1) 加藤宗兵衛直前ガバナーから挨拶状。
2) 例会終了使用事務員会を開催。
- ◎ 幹事報告

みんなにロータリーを
みんなに奉仕を
YOKOHAMA MIDORI ROTARY CLUB

**Share Rotary
Serve People**

1983 年 6 月 27 日 ウィリアム・E・スケルトン
事務所 横浜市緑区中山町230 千226
横浜銀行中山支店
TEL. 933-2341

YMRC
横浜緑ロータリークラブ
WEEKLY REPORT
No. 715 昭和59年6月27日 (JUNE 27, 1984)

例会記録

- ◎ 司会 橋本S.A.A
- ◎ 開会 武藤会長
- ◎ 合唱 手に手をつないで
- ◎ 卓話 「一年をかえりみて」
- ◎ ビジター
今村 洋人君 (横浜港北R.C.)
- ◎ 結婚祝
鶴川 昇君 (6月21日)
- ◎ 入会記念日
栗島 優君 (昭和57年6月30日)
- ◎ 御夫人誕生祝
林 律子さん (6月27日)
内野 美子さん (6月30日)
- ◎ 会長報告
1) 定例理事会
2) 身障者作製の「製中絵筆書」の件
- ◎ 幹事報告

- 1) 国際ロータリー加盟証返状伝達式案内
東京上野ロータリークラブ
スポンサークラブ 東京北ロータリークラブ
部 立 1月14日
正 式 加盟 1月30日
伝 達 式 59年9月10日(月)
会 場 東京クリスホテル
登 録 料 会員 15,000円
- 2) 事務所移転通知
1) 横浜本郷R.C.
新事務所 戸塚区公田町325
横浜銀行公田支店內
TEL. 892-4211
- 3) 例会臨時変更その他
1) 川崎豊沼R.C.
6月27日(水)例会を18:00より
亀屋会館にて。
- ◎ 出席報告
会 員 総 数 45(46)名
本 日 出 席 率 45(46)名中 34名
= 85.00%
承認補正後出席率 100 %
- ◎ 通報御惠贈クラブ

1984~85年度
R.I会長 カルロス・カンセコ



見つけよう 奉仕の新生面・・・ Discover a New World of Service
YOKOHAMA ROTARY CLUB

YMRC
横浜緑ロータリー
WEEKLY REPORT

No. 716 昭和59年7月4日

例会記録

※ 司 会 赤柄副 SAA
※ 開 会 戸田 会長
※ 合 唱 君か代
奉仕の理想
※ 卓 話 「新年度挨拶」

※ ビジター
砂 村 忠 吾 君 (横浜田園 RC)
井 澤 克 幸 君 (横浜たま RC)

※ 入会記念日
武 藤 松 一 君 (昭和45年7月1日)
山 下 栄 藏 君 (昭和45年7月1日)
城 田 順 次 君 (昭和55年7月9日)

※ 記念品贈呈
武 藤 松 一 君
渡 辺 武 君

※ 会長報告

ロータリーを勉強しよう

見つけよう 奉仕の新生面・・・ Discover a New World of Service
YOKOHAMA ROTARY CLUB

YMRC
横浜緑ロータリークラブ
WEEKLY REPORT

No. 765 昭和60年6月26日 (JUNE 26, 1985)

例会記録

※ 司 会 赤柄副 SAA
※ 開 会 戸田 会長
※ 合 唱 手に手つないで
※ 卓 話 「年度末挨拶」

※ ケ ス ト
松 村 武 人 君 (R財団奨学生)
昭和35年生、神奈川県新制高校栄光学園卒
東京大学文科一類法学部卒 大蔵省勤務
一言挨拶：皆様方のご推薦を受けまして、又
アメリカの方へ留学出来ることとなり、今日
この場でご挨拶出来ます事を、本当に有難く
思っております。
カリフォルニア大学の方は、途中で乗りま
して、ニューヨーク州の大学の方に行きま
す。専攻はノンビジネスであり、今やってお
ります事は、大蔵省の国庫金総局投資課で経
済援助をやっております。世界銀行からの財
務責任がございまして、国際機関を通し
ての財務援助をやっておりまして、そちらで
2年間は勉強させて貰った訳でございます。
そこで思いました事は、大蔵省の行う援助で
すか、大蔵省の方はどちらかと云うと、財政
援助の方でもありますし、切り詰めた上での
法律的援助という事を正面に押し出して行き
かちであります。そうした場合は、同じ政府
の中でも意思の相違が出て来ますので、そう
いったものをどうやって纏めて、一つの定義
を出し、何とかして正しい人の為になりたい
理念に結び付けて行なうという、非常にはっ
きりとした歩む道がある訳で、実務にお金を
出してやっていく事には、手段としては食い
違いか出て来ます。そういう場合、どうい
ふに調整するかということについて、私も
強い影響を受けますので、今度の大学はその
分野では、知性的に研究している大学であり、
そうした点で私も交渉の仕方等を学び教わると
いうことも含めて、学んで行きたいと思えま

※ 出席報告

会 員 総 数	本 日 出 席 率	前 回 補 正 後 出 席 率
45 (41) 名	34 + 1 名 = 82.93%	41 + 1 名 = 100%

ロータリーを勉強しよう…… Let's study Rotary!

1985～86年度

R.I.会長 エドワード・F・カドマン

あなたが鍵です
YOU ARE THE KEY



あなたが鍵です
YOU ARE THE KEY

1985～86 RI会長
エドワード F. カドマン

横浜緑ロータリー

YOKOHAMA MIDORI ROTARY CLUB

WEEKLY REPORT

例会日 毎週水曜日12:30～1:30
事務所 横浜市緑区中山町230(横浜銀行)
会長 田沼 文南 幹事

第 766 回例会 昭和 60 年 7 月

例会記録

- ◎ 司 会 近藤 S A A
- ◎ 開 会 田沼 会長
- ◎ 合 唱 君が代
奉仕の理想
- ◎ 卓 話 「年度始挨拶」
- ◎ ゲ ス ト

- ◎ ビジター
兼 平 繁 君 (米山奨学生)
- ◎ 入会記念日
山下 栄 蔵 君 (昭和 45 年 7 月 1 日)
城 田 昭 次 君 (昭和 55 年 7 月 9 日)
- ◎ 出席報告

会 員 総 数	本
45 (41) 名	33

会長方針 心の



あなたが鍵です
YOU ARE THE KEY

1985～86 RI会長
エドワード F. カドマン

横浜緑ロータリークラブ

YOKOHAMA MIDORI ROTARY CLUB

WEEKLY REPORT

例会日 毎週水曜日12:30～1:30 横浜銀行中山支店 会議室
事務所 横浜市緑区中山町230(横浜銀行中山支店) TEL. (045) 933-2341 代
会長 田沼 文南 幹事 岩崎 正 会報委員長 中塚 隆二

第 814 回例会 昭和 61 年 6 月 18 日 (JUN 18, 1986) No. 49

例会記録

- ◎ 司 会 近藤 S A A
- ◎ 開 会 田沼 会長
- ◎ 合 唱 それでこそロータリー
- ◎ 卓 話 「期末懇親会」

◎ 会長報告 田沼 文南
本年度の例会は、このあと一回を残して総て終りを告げることとなりました。この一年間会員の皆さんからの友情と心暖まる御指導、御支援によって、会長を勉めさせて戴きましたことを深く感謝申し上げます。先月、神奈川東 R C 創立 10 周年記念祝賀会に招待をうけ出席して参りました。神奈川東クラブ 10 年間の業績の中に出席についての報告がありました。

◎ 出席報告

会 員 総 数	本 日 出 席 率	前 回 補 正 後 出 席 率
49 (38) 名	38 + 4 名 = 100 名	100 名

会長方針 心のふれあいを深めよう

このクラブは過去 7 年 10 ヶ月の出席率は引続き 100 名であるということでございます。上野サパーナからも大賞状をうけた次第でございます。このように会員会員の理解と努力次第では必ずできるという立派な御手本を拝見して参りました。

当緑ロータリークラブの過去の実績を見ますと、98～99 年が 10 回もあります。努力次第では、その実績を上回ることはおろか、100 名達成も可能であると考えられます。今期は達成しながら 96 名台でございます。努力が足らなかったことを反省しております。

又会員の皆さんの方々の健康管理に力を入れて戴きたいと思っております。本期間中入院された会員は 8 名もあります。退院後も休養されておられる者が数名あるようです。お互いに健康管理には十分御留意なされ、本来の職業は勿論、ロータリー活動にも一段とお励み下さるようお願い致します。

◎ 幹事報告

- 1) 川崎宮前ロータリークラブ創立挨拶

1986~87年度

R.I会長 M.A.Tカパラス

ロータリーは
希望をもたらす
ROTARY BRINGS HOPE



YOKOHAMA MIDORI ROTARY CLUB

横浜緑ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

- 開会日 毎週水曜日 p.m.12:30~p.m.1:30
- 開会場 横浜銀行中山支店会議室
- 事務所 横浜緑区中山町230
(横浜銀行中山支店)
TEL. (045) 933-1651
- 会長 中林 靖
- 幹事 赤柄 忠昭
- 会報委員長 上林 正勝

第 816 回例会 No. 1

昭和 61 年 7 月 2 日 (JULY 2, 1986)

例会記録

- ◎司会 中畑 S A A
- ◎開会 中林 会長
- ◎合唱 君が代
奉仕の理想
- ◎卓話 「新年挨拶」

◎ケスト

- 松村 武人君 (R財団学友, 6月帰国)
- 飯 亨 辰君 (米山奨学生)
- 黄 江 清君 (米山奨学生)

◎入会記念日

山下 栄 君 (昭和 45 年 7 月 1 日)

◎会長報告

1) 本日例会終了後 臨時理事会を開きます。

◎出席報告

会員総数	本日
56 (42) 名	35 + 5 名



YOKOHAMA MIDORI ROTARY CLUB

横浜緑ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

- 開会日 毎週水曜日 p.m.12:30~p.m.1:30
- 開会場 横浜銀行中山支店会議室
- 事務所 横浜緑区中山町230
(横浜銀行中山支店)
TEL. (045) 933-1651
- 会長 中林 靖
- 幹事 赤柄 忠昭
- 会報委員長 上林 正勝

第 865 回例会 No. 50

昭和 62 年 6 月 24 日 (JUNE 24, 1987)

例会記録

- ◎司会 中畑 S A A
- ◎開会 中林 会長
- ◎合唱 手に手つないで
- ◎卓話 「期末挨拶」

◎誕生祝

小 杉 藤 君 (6月30日)

◎入会記念日

横 地 裕 生 君 (昭和 61 年 6 月 25 日)

◎御夫人誕生祝

林 博 子 さん (6月27日)
内 野 陽 子 さん (6月30日)

◎出席報告

会員総数	本日出席率	前回修正後出席率
52 (41) 名中	36 + 6 名 = 87.80%	41 名 = 100%

ROTARY BRINGS HOPE
ロータリーは希望をもたらす

1986-87年度 R.I会長
M.A.T. カパラス

会長方針「独自性と相互理解」

◎会長報告

1. 連続出席率 100% (15年以上) 会員の表彰
2. 地区大会 9/5 (付) 9/6 (日) 朝民ホールにて
3. 緑区交通安全対策協議会より礼状
4. 新田理事会
5. ロータリーレート 1ドル 129円

◎幹事報告

- 1) 座間中央 R C チャーターナイト終了挨拶
プログラム等同返
- 2) 例会臨時変更その他
- ④ 横浜田舎 R C
6月26日(例会を25日)午後6時より、
鳥海“水島亭”に。

◎ニコニコ BOX

内野 尾君 朝氣の所は戸田先生には大変御世話様になりました。おかげ様です

1987~88年度

R.I会長 チャールズ C.ケラー



WEEKLY REPORT

YOKOHAMA MIDORI ROTARY CLUB
横浜緑ロータリークラブ

ロータリアン—
奉仕に結束—平和に献身

●開会日 毎週水曜日 pm. 0:30~pm.1:30
●開会場 横浜銀行中山支店会議室
●事務所 横浜市緑区中山町230
(横浜銀行中山支店)
TEL. (045) 933-1651

●会長 内野 晃
●幹事 飯島 五郎
●会幹委員長 飯田 重雄

第 866 回例会 No. 198

昭和62年7月1日 (JULY 1, 1987)

例会記録

◎司会 城田 SAA
◎開会 内野会長
◎合唱 君が代・奉仕の理想
◎卓話 新年度挨拶

◎ゲスト
島田 幸夫氏 (岩本会員ゲスト)

◎入会記念日
山下 栄 謙 君 (昭和45年7月)

◎委員長その他報告
クラブアッセンブリーを行なう。13:40~
理事会 1. 顕彰委員会夜間例会の件。
2. 交換学生の受入クラブに対し

◎出席報告

会員総数	本日出席
51(43)名中	(39)43名=94%

会長方針

WEEKLY REPORT

YOKOHAMA MIDORI ROTARY CLUB
横浜緑ロータリークラブ

ロータリアン—
奉仕に結束—平和に献身
ROTARIANS
UNITED IN SERVICE—DEDICATED TO PEACE

チャールズ C.ケラー
Charles C. Keller

“信頼”と“和”を以て“奉仕”
真摯な態度で、一歩一歩、前進

第 915 回例会 No. 50

昭和65年6月29日 (JUNE 29, 1988)

例会記録

◎司会 城田 SAA
◎開会 内野会長
◎合唱 手に手つないで
◎卓話 年度末挨拶

◎誕生祝
小野 隆 君 (6月30日)

◎第夫人誕生祝
内野 陽子 さん (6月30日)

◎幹事報告
1) 7月1日から1ドル125円に。
2) 例会臨時変更

◎出席報告

会員総数	本日出席率	前回補正後出席率
55(40)名中	(35)40名=87.50%	95.00%

会長方針 “親睦を第一としよう”

1988~89年度

R.I会長 ロイス・アビー

ロータリーに活力を—
あなたの活力を
PUT LIFE INTO ROTARY—
YOUR LIFE

YOKOHAMA MIDORI ROTARY CLUB

横浜緑ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

ロータリーに活力を—
あなたの活力を
PUT LIFE INTO ROTARY—YOUR LIFE
1988~89年度 R.I会長
ロイス・アビー

第916回例会 No.1

例会記録

- ※ 司会 加藤 S A A
- ※ 開会 代々木副会長
- ※ 会 唱 君が代・華社の理想
- ※ 卓 話 新年度挨拶
- ※ 結 婚 祝
日 高 信 良 君 (7月5日)
- ※ 入会記念日
山 下 栄 蔵 君 (昭和45年7月1日)
横 田 昭 次 君 (昭和65年7月9日)
- ※ 出席報告

会員総数	本日出席
53(42)名中	(36) ⁺⁴ 40名=85%

会長方針

YOKOHAMA MIDORI ROTARY CLUB

横浜緑ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

ロータリーに活力を—
あなたの活力を
PUT LIFE INTO ROTARY—YOUR LIFE
1988~89年度 R.I会長
ロイス・アビー

例 会 日 ● 毎週水曜11p.m.0:30~p.m.1:30
例 会 場 ● 横浜銀行中山支店会議室
専 務 所 ● 横浜市中区中山町230
(横浜銀行中山支店)
TEL.(045)933-1651

会 長 ● 代々木 翔 男
幹 事 ● 遠 藤 貞 作
金庫委員長 ● 貞 野 誠 夫

第964回例会 No.49 平成元年6月28日 (JUNE 28, 1989)

例会記録

- ※ 司会 加藤 S A A
- ※ 開会 代々木会長
- ※ 会 唱 手に手つないで
- ※ 卓 話 年度末挨拶
- ※ ゲ ス ト
山 崎 浩 氏
- ※ 誕 生 祝
小 杉 隆 君 (6月30日)
- ※ 出 席 報 告

会員総数	本日出席率	前回補正後出席率
48(36)名中	(27 ⁺¹)28名=75.00%	100%

- ※ 御夫人誕生祝
内 野 陽 子 さん (6月30日)
- ※ 会長報告
1) 三沢君夫会員—次年度地区委員道任
地区ボランティア, プログラム委員会委員
- ※ 幹事報告
1) 例会臨時変更
(付) 川崎宮前R.C
7月11日(例例会冬午後6時より横浜博覧
会場内)。

会長方針 ———— **明るく、愉しく・心と行動**

1989~90年度

R.I.会長 ヒュー・M・アーチャー

ENJOY ROTARY!
ロータリーを
楽しもう!

YOKOHAMA MIDORI ROTARY CLUB
**横浜緑
ロータリークラブ**

会長 ● 敷島 五郎
幹事 ● 幸内 伸雄
副幹事 ● 坂田 承雄

第 965 回例会 No.

例会記録

- ⊗ 司会 小杉 SAA
- ⊗ 開会 敷島会長
- ⊗ 合唱 君が代・奉仕の理想
- ⊗ 卓話 新年度挨拶
- ⊗ ゲスト
崔 培 浩 君 (米山奨学生)
- ⊗ ビジター
松本 健助 君 (横浜港南台 R.C.)
- ⊗ 出席報告

会員総数	
47 (36) 名中	(31)

YOKOHAMA MIDORI ROTARY CLUB
**横浜緑
ロータリークラブ**

会長 ● 敷島 五郎
幹事 ● 幸内 伸雄
副幹事 ● 坂田 承雄

例会日 ● 毎週水曜 11p.m. 0:30 - p.m. 1:30
例会場 ● 横浜市中区本町公園通
事務所 ● 横浜市中区中山町220
(横浜銀行中山支店)
TEL. (045) 933-1651

第1012回例会 No.48 平成2年6月27日 (JUN 27, 1990)

ロータリーを楽しもう!

例会記録

- ⊗ 司会 小杉 SAA
- ⊗ 開会 敷島会長
- ⊗ 合唱 手に手つないで
- ⊗ 卓話 「年度末挨拶」
- ⊗ 御夫人誕生祝
内野 隆子 さん (6月30日)
- ⊗ 退報御恵贈クラブ
神奈川、神奈川東、横浜港北
- ⊗ 出席報告

⊗ スマイルボックス
敷島五郎君 本年度一年間皆様の御協力により会長の職務を大過なく終らせていただきました。ありがとうございました。
幸内伸雄君 この1年間のロータリーの友情に感謝します。
小林 靖君 敷島会長始め理事、役員の皆様1年間御苦労様でした。
岡本 健君 敷島会長始め理事、役員の皆様御苦労様でした。
田沼文衛君 1989~90 期末に当り会長始め各役員の皆様大変御苦労様でした。

会員総数	本日出席率	前回補正後出席率
51 (41) 名中	(33 ⁺⁴) 37名=80.49%	100 %

~~~~~ 20年間の歴代会長と会長方針 ~~~~~

| 年度                | 代    | 会 長   | 会 長 方 針                                                      |
|-------------------|------|-------|--------------------------------------------------------------|
| 1970<br>＼<br>1971 | 初代   | 石川治道  | 1. 会員お互いがロータリーをよく理解しよう<br>2. 奉仕の道を真剣に進もう<br>3. 会員数を増強しよう     |
| 1971<br>＼<br>1972 | 第2代  | 秋田実   | 1. 会員間の友情を更に深め、奉仕の機会を多く持とう<br>2. 本年は善意の年、1人1人が身をもって善意を行動に移そう |
| 1972<br>＼<br>1973 | 第3代  | 小林安雄  | 我等ロータリアン<br>(再考と友情に徹しよう)                                     |
| 1973<br>＼<br>1974 | 第4代  | 加藤雅光  | 緑の町は緑区から<br>ロータリーはホームクラブから                                   |
| 1974<br>＼<br>1975 | 第5代  | 鶴川昇   | 例会を稔り豊かに                                                     |
| 1975<br>＼<br>1976 | 第6代  | 名倉健二  | 生きたロータリー情報で楽しい例会                                             |
| 1976<br>＼<br>1977 | 第7代  | 中山恒三郎 | 互に理解を深めよう                                                    |
| 1977<br>＼<br>1978 | 第8代  | 三沢君夫  | 思いやりと友情                                                      |
| 1978<br>＼<br>1979 | 第9代  | 森善助   | 理解を深め充実を図ろう                                                  |
| 1979<br>＼<br>1980 | 第10代 | 山下栄蔵  | ふれあいを大切に                                                     |

~~~~~ 20年間の歴代会長と会長方針 ~~~~~

| 年度 | 代 | 会 長 | 会 長 方 針 |
|-------------------|------|---------|------------------------------------|
| 1980
∩
1981 | 第11代 | 岡 本 健 | 愛情で接しよう |
| 1981
∩
1982 | 第12代 | 岩 沢 幸 男 | 個性を生かそう |
| 1982
∩
1983 | 第13代 | 田 辺 政 雄 | 愛と奉仕 |
| 1983
∩
1984 | 第14代 | 武 藤 松 一 | なし |
| 1984
∩
1985 | 第15代 | 戸 田 裕 也 | ロータリーを勉強しよう
Let's study Rotary! |
| 1985
∩
1986 | 第16代 | 田 沼 文 衛 | 心のふれあいを深めよう |
| 1986
∩
1987 | 第17代 | 中 林 靖 | 「独自性と相互理解」 |
| 1987
∩
1988 | 第18代 | 内 野 晃 | “親睦を第一としよう” |
| 1988
∩
1989 | 第19代 | 代々木 和 男 | “世界平和をモットーに” |
| 1989
∩
1990 | 第20代 | 藪 島 五 郎 | なし |

◎横浜緑ロータリークラブ年度別組織表

| 役名 \ 年度 | 1970～1971 | 1971～1972 | 1972～1973 | 1973～1974 |
|------------|-----------|-----------|---------------------|-----------|
| 会 長 | 石川 治道 | 秋 田 茂 | 小 林 安 雄 | 加 藤 雅 光 |
| 副 会 長 | 秋 田 茂 | 小 林 安 雄 | 加 藤 雅 光 | 鶴 川 昇 |
| 幹 事 | 柴 田 清 | 三 沢 君 夫 | 高 橋 正 文 | 名 倉 健 二 |
| 会 計 | 浜 田 淳太郎 | 浜 田 淳太郎 | 篠 田 貞 光 | 篠 田 貞 光 |
| S . A . A | 名 倉 健 二 | 森 一 哉 | 岡 本 健 | 武 藤 松 一 |
| クラブ奉仕担当理事 | 秋 田 茂 | 小 林 安 雄 | 加 藤 雅 光 | 鶴 川 昇 |
| 社会奉仕委員長 | 岩 崎 董 正 | 中 山 恒三郎 | 岩 本 正 三 | 山 下 栄 蔵 |
| 青少年奉仕委員長 | | | | |
| 職業奉仕委員長 | 細 辻 文 治 | 土志田 昭 吉 | 野 路 久 治
(柴田 久 清) | 野 路 久 治 |
| 国際奉仕委員長 | 麻 生 和 衛 | 藤 森 茂 | 鶴 川 昇 | 森 善 助 |
| 出席委員長 | 土志田 昭 吉 | 岡 本 健 | 森 善 助 | 岩 本 正 三 |
| 職業分類委員長 | 吉 田 晴太郎 | 好 井 良 雄 | 野 路 久 治 | 高 橋 正 文 |
| 親睦活動委員長 | 富 永 力 | 山 下 栄 蔵 | 山 口 吉 蔵 | 山 本 照 磨 |
| 雑誌委員長 | 小 峰 政 博 | 志 田 宝 | 長 瀬 正 作 | 麻 生 和 衛 |
| 会報委員長 | 藤 森 茂 | 武 藤 松 一 | 中 野 実 | 戸 田 裕 也 |
| 会員選考委員長 | 鈴 木 憲 一 | 加 藤 雅 光 | 中 山 恒三郎 | 石 川 治 道 |
| 会員増強委員長 | 秋 田 茂 | 小 林 安 雄 | 加 藤 雅 光 | 鶴 川 昇 |
| プログラム委員長 | 小 林 安 雄 | 麻 生 和 衛 | 武 藤 松 一 | 富 永 力 |
| R 情報委員長 | 高 橋 正 文 | 岩 本 正 三 | 富 永 力 | 三 沢 君 夫 |
| 広報委員長 | 志 田 宝 | 名 倉 健 二 | 岩 沢 幸 男 | 岡 本 健 |
| インターアクト委員長 | | | 準備委員会 | 名 倉 健 二 |
| ローターアクト委員長 | | | | 名 倉 健 二 |
| 世界社会奉仕委員長 | | 松 田 三 郎 | 山 下 栄 蔵 | |
| R 財団委員長 | 松 田 三 郎 | 戸 田 修 | 戸 田 修 | 戸 田 修 |
| 米山奨学委員長 | 鶴 川 昇 | 鶴 川 昇 | (沢 山 勇) | 土志田 昭 吉 |
| ポリオプラス委員長 | | | | |

| 1974~1975 | 1975~1976 | 1976~1977 | 1977~1978 | 1978~1979 | 1979~1980 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------------|
| 鶴川 昇 | 名倉 健二 | 中山 恒三郎 | 三沢 君夫 | 森 善助 | 山下 栄蔵 |
| 名倉 健二 | 中山 恒三郎 | 三沢 君夫 | 森 善助 | 山下 栄蔵 | 岡本 健 |
| 山下 栄蔵 | 武藤 松一 | 岩沢 幸男 | 岡本 健 | 浜田 勝彌 | 戸田 裕也 |
| 篠田 貞光 | 川口 節夫 | 川口 節夫 | 川口 節夫 | 武藤 松一 | 武藤 松一 |
| 浜田 勝爾 | 代々木 和男 | 中野 実 | 砂村 忠吾 | 寺崎 誠三 | 岩岡 正 |
| 名倉 健二 | 中山 恒三郎 | 三沢 君夫 | 森 善助 | 山下 栄蔵 | 岡本 健 |
| 高橋 正文 | 岡本 健 | 山口 吉蔵 | 野路 久治 | 岩沢 幸男 | 内野 晃 |
| | | | | | |
| 岩沢 幸男 | 富永 力 | 武藤 松一 | 岩本 正三 | 代々木 和男 | 浜田 勝彌 |
| 戸田 裕也 | 清水 勇 | 中林 靖 | 浜田 勝彌 | 阿久根 幹成 | 寺崎 誠三 |
| 野路 久治 | 古谷 英太郎 | 岩岡 正 | 阿久根 幹成 | 山口 吉蔵 | 田沼 文衛 |
| 清水 勇 | 岩本 正三 | 富永 力 | 麻生 和衛 | 戸田 裕也 | 岡本 健 |
| 阿久根 幹成 | 浜田 勝彌 | 田辺 政雄 | 代々木 和男 | 岩本 正晃 | 岩沢 幸男 |
| 秋田 茂 | 山口 吉蔵 | 清水 勇 | 岩沢 幸男 | 中村 靖 | 森 善助 |
| 加藤 芳昭 | 中村 靖 | 浜田 勝彌 | 田辺 政雄 | 内野 晃 | 松波 玄海 |
| 三沢 君夫 | 秋田 茂 | 小林 安雄 | 名倉 健二 | 小林 安雄 | 鶴川 昇 |
| 名倉 健二 | 中山 恒三郎 | 三沢 君夫 | 森 善助 | 山下 栄蔵 | 中山 恒三郎 |
| 岡本 健 | 岩沢 幸男 | 田代 達郎 | 山下 栄蔵 | 田沼 文衛 | 古谷 英太郎 |
| 中山 恒三郎 | 加藤 雅光 | 石川 治道 | 小林 安雄 | 中山 恒三郎 | 名倉 健二 |
| 森 善助 | 中野 実 | 山下 栄蔵 | 近藤 襄 | 富永 力 | 代々木 和男 |
| 富永 力 | 委員長 { | 鶴川 昇 | 鶴川 昇 | 鶴川 昇 | 鶴川 昇 |
| 富永 力 | | 鶴川 昇 | 鶴川 昇 | 鶴川 昇 | 鶴川 昇 |
| | | | 小林 安雄 | 三沢 君夫 | 三沢 君夫 |
| 石川 治道 | 戸田 修 | 戸田 修 | 戸田 修 | 戸田 修 | 戸田 修
(名倉 健二) |
| 岩崎 董正 | 野路 久治 | 加藤 雅光 | 加藤 雅光 | 加藤 雅光 | 加藤 雅光 |
| | | | | | |

◎横浜緑ロータリークラブ年度別組織表

| 役名 \ 年度 | 1980～1981 | 1981～1982 | 1982～1983 | 1983～1984 |
|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 会長 | 岡本 健 | 岩沢 幸男 | 田辺 政雄 | 武藤 松一 |
| 副会長 | 岩沢 幸男 | 田辺 政雄 | 武藤 松一 | 戸田 裕也 |
| 幹事 | 代々木 和男 | 中林 靖 | 内野 晃 | 渡辺 武 |
| 会計 | 渡辺 武 | 藪島 五郎 | 藪島 五郎 | 河原 照忠 |
| S . A . A | 中村 彰宏 | 幸内 伸雄 | 遠藤 真作 | 岡本 健 |
| クラブ奉仕担当理事 | 岩沢 幸男 | 田辺 政雄 | 武藤 松一 | 戸田 裕也 |
| 社会奉仕委員長 | 武藤 松一 | 岩岡 正 | 中林 靖 | 藪島 五郎 |
| 青少年奉仕委員長 | 鶴川 昇 | 寺崎 誠三 | 岡本 健 | 加藤 勇夫 |
| 職業奉仕委員長 | 中林 靖 | 山田 雅人 | 渡辺 武 | 古谷 英太郎 |
| 国際奉仕委員長 | 田辺 政雄 | 赤柄 忠昭 | 中村 彰宏 | 遠藤 真作 |
| 出席委員長 | 寺崎 誠三 | 中村 彰宏 | 中畑 龍二 | 代々木 和男 |
| 職業分類委員長 | 内野 晃 | 田沼 文衛 | 寺崎 誠三 | 矢島 誠治 |
| 親睦活動委員長 | 赤柄 忠昭 | 豊田 洋 | 幸内 伸雄 | 田沼 文衛 |
| 雑誌委員長 | 戸田 裕也 | 内野 晃 | 阿久根 幹成 | 豊田 洋 |
| 会報委員長 | 小林 敬 | 名倉 健二 | 田沼 文衛 | 中村 彰宏 |
| 会員選考委員長 | 山下 栄蔵 | 岡本 健 | 中山 恒三郎 | 山下 栄蔵 |
| 会員増強委員長 | 岩沢 幸男 | 田辺 政雄 | 武藤 松一 | 岩岡 正 |
| プログラム委員長 | 松波 玄海 | 加藤 雅光 | 戸田 裕也 | 赤柄 忠昭 |
| R情報委員長 | 森 善助 | 三沢 君夫 | 山下 栄蔵 | 岩沢 幸男 |
| 広報委員長 | 岩岡 正 | 戸田 裕也 | 豊田 洋 | 好井 良雄 |
| インターアクト委員長 | 鶴川 昇 | 武藤 松一 | 代々木 和男 | 田辺 政雄 |
| ローターアクト委員長 | 三沢 君夫 | 三沢 君夫 | 三沢 君夫 | 寺崎 誠三 |
| 世界社会奉仕委員長 | 名倉 健二 | 代々木 和男 | 富永 力 | 城田 昭次 |
| R財団委員長 | 浜田 勝爾 | 阿久根 幹成 | 加藤 雅光 | 富永 力 |
| 米山奨学委員長 | 山口 吉蔵 | 森 善助 | 森 善助 | 三沢 君夫 |
| ポリオプラス委員長 | | | | |

| 1984~1985 | 1985~1986 | 1986~1987 | 1987~1988 | 1988~1989 | 1989~1990 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 戸田裕也 | 田沼文衛 | 中林靖 | 内野晃 | 代々木和男 | 藪島五郎 |
| 田沼文衛 | 中林靖 | 内野晃 | 寺崎誠三 | 藪島五郎 | 近藤襄 |
| 寺崎誠三 | 岩岡正 | 赤柄忠昭 | 藪島五郎 | 遠藤真作 | 幸内伸雄 |
| 武藤松一 | 河原照忠 | 藪島五郎 | 横尾裕生 | 佐藤英治 | 佐藤英治 |
| 山下栄蔵 | 近藤襄 | 中畑龍二 | 城田昭次 | 加藤勇夫 | 小杉隆 |
| 田沼文衛 | 中林靖 | 内野晃 | 寺崎誠三 | 藪島五郎 | 近藤襄 |
| 河原照忠 | 城田昭次 | 加藤勇夫 | 上林正勝 | 幸内伸雄 | 田中克巳 |
| 三沢君夫 | 岡本健 | 代々木和男 | 森善助 | 渡辺宏未 | 赤柄忠昭 |
| 幸内伸雄 | 小林敬 | 名倉健二 | 森一哉 | 岩岡正 | 土志田猛 |
| 中畑龍二 | 大島匡佐 | 近藤襄 | 横井好明 | 高嶋経保 | 金子朝夫 |
| 飯塚金次郎 | 加藤貞夫 | 飯田重雄 | 小林新一 | 小杉隆 | 小林新一 |
| 渡辺武 | 豊田洋 | 小林敬 | 中畑龍二 | 飯塚金次郎 | 山下栄蔵 |
| 内野晃 | 横井好明 | 中村彰宏 | 近藤襄 | 中畑龍二 | 渡辺宏未 |
| 好井良雄 | 藪島五郎 | 加藤貞夫 | 富永力 | 田中克巳 | 斎藤宏一 |
| 横井好明 | 中畑龍二 | 上林正勝 | 飯田重雄 | 真野滋夫 | 飯田重雄 |
| 古谷英太郎 | 戸田裕也 | 田沼文衛 | 三沢君夫 | 森善助 | 代々木和男 |
| 遠藤真作 | 代々木和男 | 幸内伸雄 | 山下栄蔵 | 三沢君夫 | 森善助 |
| 中村彰宏 | 幸内伸雄 | 寺崎誠三 | 田中克巳 | 横井好明 | 城田昭次 |
| 岡本健 | 山下栄蔵 | 戸田裕也 | 田沼文衛 | 中林靖 | 内野晃 |
| 藪島五郎 | 赤柄忠昭 | 土志田猛 | 中林靖 | 城田昭次 | 横井好明 |
| 中林靖 | 内野晃 | 森一哉 | 中村彰宏 | 赤柄忠昭 | 上林正勝 |
| 富永力 | 遠藤真作 | 横井好明 | 渡辺宏未 | 斎藤宏一 | 中畑龍二 |
| 大島匡佐 | 寺崎誠三 | 岩岡正 | 赤柄忠昭 | 上林正勝 | 遠藤真作 |
| 代々木和男 | 森善助 | 遠藤真作 | 岩岡正 | 内野晃 | 高嶋経保 |
| 森善助 | 富永力 | 森善助 | 戸田裕也 | 富永力 | 三沢君夫 |
| | | | 近藤襄 | 近藤襄 | 二宮浩 |

横浜緑ロータリークラブ年度別会員入退会状況

| チャーター
メンバー | 年度 | | | | |
|--|-------------|---|---|-----------------------------------|--|
| | 入退
会別 | 1980～1981 | 1981～1982 | 1982～1983 | 1983～1984 |
| 秋田 茂
石川 治
岩崎 董
小林 安
小峰 政
中山 恒
柴田 清
鈴木 憲
土志田 昭
岡本 健
志田 正
高橋 英
足立 和
麻生 森
藤田 淳
浜田 文
細本 正
岩田 三
松田 英
三名 倉
富永 健
鶴川 永
吉田 昇
晴太郎 | 入
会
者 | 城田 昭
武田 峯
熊崎 皓
中畑 龍
渡辺 健
加藤 勇
山林 本
達 | 加藤 直
河原 照
加藤 貞
栗島 夫
優 | 近藤 裕
大島 匡
飯塚 金
横井 好
明 | 井上 章
横須賀 和
渡辺 宏
未 |
| | 退
会
者 | 浜田 勝
山口 吉
原瀬 速
佐々木 弥
蔵美 胖 | 岩内 本
松波 正
熊崎 俊
岩崎 玄
崎董 皓
正 | 北山 晃
島本 男
国雄 海
司雄 一
正 | 山田 雅
加藤 直
渡辺 健
阿久根 幹
井上 章
岩沢 幸
加藤 雅
武田 峯
生 |
| | | | | | |

| 1984~1985 | 1985~1986 | 1986~1987 | 1987~1988 | 1988~1989 | 1989~1990 |
|---|---|-------------------------------------|----------------------------------|---|--|
| 近藤 藤 襄
野村 莊一郎
土志田 新
小金 子 功 | 飯田 重雄
上林 正勝
森 嶋 一哉
高田 中 保
渡小 辺 己
斉 杉 隆
和 藤 宏
横 田 裕 生 | 真野 滋夫
八木 節忠
長沼 田三
飯二 宮 浩 | 島田 幸夫
小野 信清
日高 義弘
高橋 朝夫 | 佐藤 敬治
松田 税 | 折田 啓一郎
森 藤 一
遠 井 基
堀 上 周
井 沼 正
黒 沼 将
長 沼 亮
関 田 幸
田 中 喜
渡 辺 良
脇 田 篤
加 小 田 澄
吉 三 浦 澄 |
| 栗 島 優
近藤 裕 義
武 藤 松 一
渡 藤 武
中 山 恒 三郎 | 田 辺 政雄
大 島 匡 佐
河 原 照 忠
横 須 賀 和 吉
豊 田 洋 | 野村 壯一郎
加 藤 貞 夫
金 子 功
林 達 磨 | 渡 辺 俊 一 | 岩 本 正 三
長 沼 忠 郷
横 尾 裕 生
中 村 彰 宏
古 谷 英 太
岩 岡 野 滋 夫
真 野 功 | 高 橋 義 弘
加 藤 勇 三
寺 崎 誠 作
長 瀬 正 龍 二
中 畑 昭 次
城 富 永 田 力
飯 八 戸 木 節 郎
塚 田 裕 夫
飯 塚 金 次 郎 |
| | | | | | |

表彰

本年度 米山功労クラブとして表彰されました。

財団寄付率

寄付額合計 100117ドル

内本年度分 8011ドル（1人当157ドル強）

（内ポリオ本年度分 3070ドル 430,000円）

ポリオを除く財団寄付は4941ドル1人当約97ドル

ポールハリスフェロー

◎ポールハリスフェロー

| | | |
|---------|---------|---------|
| 赤 柄 忠 昭 | 森 善 助 | 渡 辺 宏 未 |
| 土志田 猛 | 名 倉 健 二 | 藪 島 五 郎 |
| 遠 藤 真 作 | 中 林 靖 | 矢 島 誠 治 |
| 小 林 安 雄 | 岡 本 健 | 山 下 栄 藏 |
| 幸 内 伸 雄 | 城 田 昭 次 | 好 井 良 雄 |
| 近 藤 襄 | 田 沼 文 衛 | 代々木 和 男 |
| 三 沢 君 夫 | 内 野 晃 | |
| 三 橋 英 一 | 鶴 川 昇 | |

◎準フェロー

| | | |
|---------|-----------|---------|
| 日 高 信 良 | 二 宮 浩 | 遠 藤 真 作 |
| 飯 田 重 雄 | 斉 藤 宏 一 | 堀 井 基 章 |
| 上 林 正 勝 | 島 田 幸 夫 | 井 上 周 輔 |
| 金 子 朝 夫 | 高 嶋 経 保 | 黒 沼 正 雄 |
| 小 林 新 一 | 田 中 克 己 | 長 沼 博 |
| 小 林 敬 | 山 下 栄 藏 | 関 口 将 実 |
| 小 杉 隆 | 横 井 好 明 | 田 中 亮 二 |
| 松 田 税 | 代々木 和 男 | 渡 辺 清 |
| 三 沢 君 夫 | 折 田 啓 一 郎 | 脇 田 幸 一 |
| 森 善 助 | 森 實 | |

◎会 員 外

| | | |
|---------|---------|---------|
| 遠 藤 と き | 岡 本 トヨエ | 山 下 百合子 |
| 中 林 順 子 | 内 野 陽 子 | |

米 山 功 勞 者

当クラブ累計 19名 内現会員 9名

加 藤 雅 光 (現横浜またRC会員)

秋 田 茂

岩 岡 正

武 藤 松 一

長 瀬 正 作

田 辺 政 雄

和 田 功

富 永 力

飯 塚 金次郎

城 田 昭 次



会員紹介



- ①職業分類
- ②勤務先及び役職
- ③勤務先住所及電話番号
- ④生年月日
- ⑤自宅住所及電話番号



赤柄 忠昭

- ①旅行幹旋
- ②サン東総業株
(専務取締役)
- ③鴨居3-31-4
TEL045-933-2327
- ④昭和15年9月26日
- ⑤鴨居3-20-7
TEL045-932-6070



日高 信良

- ①料理店(和食)
- ②南オース
(代表取締役)
- ③鴨居1-16-1
TEL045-932-9432
- ④昭和16年9月3日
- ⑤鴨居6-19-14
TEL045-934-2507



土志田 猛

- ①不動産業
- ②株岩本不動産商会
(代表取締役)
- ③寺山町1839
TEL045-933-2411
- ④昭和8年11月24日
- ⑤美保町1839
TEL045-931-3366



飯田 二郎

- ①都市銀行
- ②三井銀行青葉台支店支店長
- ③青葉台2-5
TEL045-981-3131
- ④昭和13年2月12日
- ⑤東京都杉並区
下井草2-35-1
TEL03-394-0036



遠藤 真作

- ①
- ②株遠藤製作所
(代表取締役)
- ③上山町63
TEL045-934-2211
- ④大正13年4月10日
- ⑤泉区弥生台55-29
TEL045-812-6291



飯田 重雄

- ①印刷
- ②飯田印刷株
(代表取締役)
- ③東本郷5-11-8
TEL045-473-5521-2
- ④昭和5年11月20日
- ⑤東本郷5-11-8
TEL045-473-5521



飯塚 金次郎

- ① 舗装工事
- ② 宇路建設株式会社
(代表取締役)
- ③ 霧ヶ丘3-1-22
TEL045-921-8841
- ④ 昭和20年1月2日
- ⑤ 霧ヶ丘5-23-1
TEL045-922-1020



小林 新一

- ① 木材販売
- ② 小林建設林産株式会社
(代表取締役)
- ③ 十日市場町832-3
TEL045-981-4553
- ④ 昭和12年3月27日
- ⑤ 十日市場町830-3
TEL045-981-4555



上林 正勝

- ① 循環器科医
- ② 横浜総合病院
(院長)
- ③ 鉄町2201
TEL045-902-0001
- ④ 昭和15年11月18日
- ⑤ 荏子田3-23-2
TEL045-901-2231



小林 敬

- ① 自動車修理
- ② 株式会社ブラザーモーター
(代表取締役)
- ③ 池辺町3328
TEL045-931-4517
- ④ 昭和15年3月26日
- ⑤ 港北区篠原町1120
TEL045-434-1500



金子 朝夫

- ① ビル建築
- ② 工藤建設株式会社
(常務取締役)
- ③ 新石川4-33-10
TEL045-911-5300
- ④ 昭和8年1月23日
- ⑤ 藤が丘1-12-30
TEL045-973-3880



小林 安雄

- ① 板金加工(シニア)
- ② 小富士産業株式会社
(取締役社長)
- ③ 青砥町217
TEL045-932-1331
- ④ 大正13年8月30日
- ⑤ 鎌倉市浄明寺110
TEL0467-22-5017



加藤 勇夫

- ① 物療科医
- ② 加藤接骨院院長
- ③ 寺山町138
TEL045-932-3253
- ④ 昭和14年3月16日
- ⑤ 寺山町518
TEL045-934-4990



幸内 伸雄

- ① 生コンクリート配布
- ② 日建輸送株式会社
(代表取締役)
- ③ 加賀原2-16-8
TEL045-942-1313
- ④ 昭和7年4月9日
- ⑤ 川和町1702-2
TEL045-941-2525



近藤 襄

- ①産婦人科
- ②産婦人科近藤病院
(院長)
- ③中山町303-1
TEL045-932-5503
- ④昭和3年8月20日
- ⑤青葉台1-27-13
TEL045-982-8607
FAX045-982-8609



三橋 英一

- ①土木工事
- ②三橋建設株式会社
(代表取締役社長)
- ③あざみ野1-4-3
TEL045-901-3141(代)
- ④昭和6年2月8日
- ⑤新石川2-6-7
TEL045-911-3140



小杉 隆

- ①建築
- ②太陽建設株式会社
(代表取締役)
- ③三保町1863
TEL045-832-1309
- ④昭和7年6月30日
- ⑤長津田2-22-4
TEL045-981-0797



森 善助

- ①不動産賃貸
- ②
- ③
- ④大正7年10月25日
- ⑤桜台33-3
TEL045-981-4831



松田 税

- ①産業用石油販売
- ②不動燃料工業株式会社
(代表取締役社長)
- ③東京都港区新橋4-7-2
第6東洋海事ビル内
TEL03-431-2011
- ④昭和15年1月14日
- ⑤東本郷2-1-18
TEL045-473-7800



長瀬 正作

- ①タクシー(シニア)
- ②綱島交通株式会社
(代表取締役)
- ③港北区綱島西2-11-12
TEL045-543-2121
- ④大正2年4月2日
- ⑤港北区綱島西2-8-11
TEL045-531-1184



三澤 君夫

- ①ボーリング場
- ②三沢(合)
(代表者)
- ③つつじが丘1-1
TEL045-981-1124(代)
- ④昭和15年9月11日
- ⑤奈良町750
TEL045-962-0239



名倉 健二

- ①履帯製造
- ②株式会社東京リンク
(相談役)
- ③旭区上白根町長坂693-7
TEL045-934-2666
- ④大正9年5月20日
- ⑤港北区大曾根台25-1
TEL045-531-3816



中林 靖

- ①アスファルト合材製造
- ②日本舗材(株)
(取締役会長)
- ③青砥町415
TEL045-931-3535
- ④昭和4年5月7日
- ⑤東京都杉並区
阿佐谷南1-13-8
TEL03-312-4868



折田啓一郎

- ①電話事業
- ②NTT中山支店
(支店長)
- ③中山町533-1
TEL045-931-2000
- ④昭和11年12月3日
- ⑤東京都目黒区
平町2-7-18 A2号
TEL03-724-0870



中畑 龍二

- ①獣医
- ②中畑動物病院
(院長)
- ③台村町177
TEL045-931-2776
- ④昭和9年5月1日
- ⑤三保町2710-140
TEL045-934-5706



斉藤 宏一

- ①土地賃貸
- ②斉藤興業開発(株)
(取締役社長)
- ③中山町92
TEL045-935-0350
- ④昭和11年6月12日
- ⑤中山町92
TEL045-931-1650



二宮 浩

- ①整形外科医
- ②医療法人社団研医会
二宮整形外科
(理事長)
- ③霧ヶ丘4-22-8
TEL045-921-8989
- ④昭和22年12月15日
- ⑤霧ヶ丘4-22-8
TEL045-921-8989



佐藤 英治

- ①地方銀行
- ②横浜銀行中山支店
- ③中山町230-2
TEL045-933-2341
- ④昭和13年2月18日
- ⑤鎌倉市城廻720-4
TEL0467-43-3197



岡本 健

- ①銃器製造(シニア)
- ②ミクロ機械(株)
(代表取締役)
- ③上山町7
TEL045-931-4541
- ④大正13年3月4日
- ⑤神奈川県片倉町757-68
TEL045-481-3080



島田 幸夫

- ①歯科医
- ②島田歯科
(院長)
- ③鴨居1-10-15
TEL045-934-6220
- ④昭和9年10月3日
- ⑤中区根岸旭台56-1
TEL045-662-4904



城田 昭次

- ①ガソリン販売
- ②株式会社城田石油
(代表取締役)
- ③東方町418
TEL045-471-8528
- ④昭和4年10月18日
- ⑤折本町1640
TEL045-941-9737



田沼 文衛

- ①食品材料配布(シニア)
- ②株式会社グリーンハウス
(顧問)
- ③東京都渋谷区
代々木1-36-4
TEL03-379-1211(代)
- ④明治41年7月19日
- ⑤相模原市東林間2-21-4
TEL0427-42-3979



高橋 義弘

- ①電話事業
- ②NTT中山電報電話局局長
- ③中山町533-1
TEL045-931-2000
- ④昭和9年8月12日
- ⑤東京都港区西麻布3-12-6-301
TEL03-401-0081



寺崎 誠三

- ①建築設計
- ②(有)寺崎工務店
(代表取締役)
- ③川和町2516
TEL045-971-5152
- ④昭和6年10月1日
- ⑤川和町2549
TEL045-934-1683



高嶋 経保

- ①看板・広告
- ②横浜標識株式会社
(代表取締役)
- ③鴨居町814-1
TEL045-934-2421
- ④昭和12年8月21日
- ⑤富士見が丘19-31
TEL045-941-4455



戸田 裕也

- ①病院(シニア)
- ②長津田厚生総合病院
(院長)
- ③長津田4丁目23-1
TEL045-981-1201
- ④昭和12年4月7日
- ⑤東京都品川区大井3-20-12
TEL03-777-4025



田中 克己

- ①活版印刷
- ②日本ビジネスフォーム株式会社
(代表取締役)
- ③東京都千代田区飯田橋3-11-13
TEL045-263-4608
- ④昭和4年3月2日
- ⑤美しが丘4-34-3
TEL045-902-1507



富永 力

- ①ビニール高集波工業株式会社
(取締役社長)
- ②三保町1745
TEL045-931-1861
- ③
- ④明治43年12月20日
- ⑤しらとり台36-2



内野 晃

- ①外科医(シニア)
- ②内野医院
(院長)
- ③市ヶ尾町330
TEL045-971-1048 8386
- ④大正15年3月21日
- ⑤



八木 節夫

- ①信用金庫
- ②八千代信用金庫長津田支店
(支店長)
- ③長津田5-3-8
TEL045-981-1411
- ④昭和8年1月5日
- ⑤大和市鶴間2-2-22
TEL0462-74-2032



鵜川 昇

- ①高等学校(シニア)
- ②学校法人桐蔭学園
(理事長・学長・校長)
- ③鉄町1614
TEL045-971-1411
- ④大正9年8月10日
- ⑤神奈川区白幡西町58
TEL045-421-2948



矢島 誠治

- ①不動産貸付
- ②㈱矢島ビル
- ③台村町350
TEL045-931-1343
- ④昭和3年9月7日
- ⑤三保町812
TEL045-921-3249



渡辺 宏未

- ①建築請負
- ②㈱渡辺工務店
(代表取締役社長)
- ③寺山町99
TEL045-931-5358代
- ④昭和12年1月6日
- ⑤緑区中山町151
TEL045-931-1770



山下 栄蔵

- ①建設機械製造販売
- ②山下工業㈱
(代表取締役社長)
- ③上山町91
TEL045-933-0321代
- ④大正15年10月20日
- ⑤神奈川区白幡向町99
TEL045-421-3263



藪島 五郎

- ①電気器具製造(シニア)
- ②(社)横浜北工業会
(専務理事)
- ③港北区菊名町6-20-22
TEL045-421-1717代
- ④大正10年10月11日
- ⑤緑区川和町2320
TEL045-941-1196



横井 好明

- ①情報通信設備
- ②横井通信工業㈱
(代表取締役)
- ③さつきが丘6-16
TEL045-971-2241
- ④大正13年11月26日
- ⑤
TEL045-971-2242



好井 良雄

- ①建築鐵工業
- ②(株)好井鐵工所
(代表取締役)
- ③川和町846
TEL045-931-3181
- ④大正5年4月1日
- ⑤佐江戸町1956
TEL045-931-1445



代々木和男

- ①建築材料販売
- ②(有)代々木商店
(取締役社長)
- ③市ヶ尾町325
TEL045-971-3194
- ④昭和7年6月11日
- ⑤市ヶ尾町473-9
TEL045-971-3258



事務局

二宮登代子

西区北軽井沢55
TEL 045-311-6264





横浜緑ロータリークラブ

物故会員についてはそのご冥福を祈り
創立以来20年全員を掲載いたしました。

物故会員



高橋 正文

昭和51年 9月26日 逝去



戸田 修

昭和54年12月10日 逝去



秋田 茂

昭和54年 4月28日 逝去



浜田 勝弥

昭和55年12月28日 逝去



鈴木 憲一

昭和54年 9月 1日 逝去



岩本 正三

昭和63年 7月11日 逝去



編 集 後 記

ここに創立二十年記念誌をお届け致します。記念式典に於けるテープの収録、資料の整理、十年間の記録をこの誌面に持ち込むまで一年以上の日時を費やしてしまった。と同時に日頃の資料や記録の保存の大切さを思い知らされた日時でもあった。ともあれここに出来上った記念誌、これから迎えるであろう25年、30年への一助になればと考えている。遅れました事深くお詫び申し上げ、会員諸兄の方々のご協力に心から感謝申し上げます。

平成二年九月

二十年記念誌編集委員会

編集委員長 赤柄 忠昭



